

**令和 4 年度
相模原市図書館事業評価**

令和 6 年 2 月 相模原市立図書館

目次

I	相模原市図書館事業評価について	1
II	令和4年度図書館事業評価	5
1	成果指標の実績値	
2	基本的な統計の実績値	
3	各図書館による自己点検・評価	
3-1	市立図書館・市立図書館相武台分館	
3-2	相模大野図書館	
3-3	橋本図書館	
4	内部評価	
5	外部評価	
	資料編	26
1	第2次相模原市図書館基本計画「第6章 計画の推進に向けて」	
2	利用者アンケート	
3	各委員の意見	

I 相模原市図書館事業評価について

1 図書館事業評価の目的

図書館法及び「図書館の設置及び運営上の望ましい基準（平成 24 年 12 月 19 日文科省告示第 172 号）」に基づき、図書館の運営状況に関する評価を行い運営の改善を図るとともに、運営の状況に関する情報を積極的に提供することを目的とする。

2 相模原市図書館事業評価について

図書館事業評価の目的に基づき、第 2 次相模原市図書館基本計画（以下、「計画」という。）の進行管理として、毎年評価を実施する。

各図書館が自己点検・評価として、成果指標及び基本的な統計数値について検証するとともに、主な取組やその成果等を記述する。各図書館の自己点検・評価を踏まえ、全体の内部評価及び外部評価を行い、総合的に当該年度の成果を評価する。

3 評価者について

計画の第 6 章に定める成果指標及び進行管理において、図書館による内部評価と図書館協議会による外部評価を実施することとしていることから、職員による内部評価を行うとともに、第三者による客観的な評価として、有識者や市民公募委員等から構成される図書館協議会から外部評価を受ける。

4 利用者アンケートについて

成果指標の一つである利用者の満足度を測定するとともに、広く利用者の意見を伺い運営の改善等に生かすため、毎年利用者アンケートを実施する。アンケートは各図書館及び公民館等図書室（1 年に各区 2 室程度、交代で実施）で配布するほか、Web でも行う。

5 評価方法について

評価内容を定性的に記述することに加え、計画の進捗状況を客観的に判断する目安として、全体の内部評価及び外部評価について、次のとおり段階評価を行う。

（令和 4 年度第 3 回相模原市立図書館協議会で承認）

(1) 内部評価

成果指標の達成項目及び施策の取組状況を点数化し、双方の総合点で A～D を評価

項目	評価方法	評価及び点数
総合評価	「成果指標の達成項目」の点数＋「施策の取組状況」の点数の合計点で評価	A: 目標どおりの成果が得られた (80～100 点) B: 概ね目標どおりの成果が得られた (50～79 点) C: 成果は得られたが、改善の余地がある (20～49 点) D: 成果が得られなかった (0～19 点)
成果指標の達成項目	成果指標 10 項目に対する令和 9 年度目標値の達成に向け、目標値から算出した各年度の評価基準値を設定し、達成項目数で評価 ※実績値≥評価基準値で「達成」と判断	A: 8～10 項目達成 (60 点) B: 5～7 項目達成 (30 点) C: 1～4 項目達成 (15 点) D: 達成なし (0 点)
施策の取組状況	計画に定める、4 つの基本目標に紐づく 73 の主な施策について、目標達成に向けた取組を行った施策の数を基本目標単位で点数化し、定量的に評価※ ※詳細は、「施策の取組状況の評価について」を参照	A: 目標通り達成 (40 点) B: 概ね目標通り達成 (20 点) C: 目標以下 (10 点)

※施策の取組状況の評価について

1 基本的な考え方

- ・ 第 2 次図書館基本計画の構成に沿って、①主な施策➡②施策の方向➡③基本目標➡④取組全体の 4 つの過程がある。
- ・ 各過程で定量的に実施状況を測定し、最終的な点数を施策の取組状況としての点数とする。
- ・ 各施策は単年度で完結するものではないことから、各図書館いずれかで施策に係る事業を実施し、計画の最終年度に向けて取り組んでいると判断できた場合に「実施」とする。

2 定量的な測定の考え方

(1) 主な施策レベル

73 の主な施策について、実施状況を点検する。

(2) 施策の方向レベル

2～8 つの主な施策の実施数によって実施状況を 3 段階で評価し、点数化する。

主な施策の実施状況	評価	配点
8 割以上～10 割実施	◎	3
5 割以上～8 割未満実施	○	2
5 割未満実施	△	1

(3) 基本目標レベル

3～5 つの各施策の方向の合計点を 3 段階で評価し、点数化する。

各施策の方向の得点の合計 (9 点～15 点満点)	評価	配点
満点中 8 割以上～10 割の得点	a	3
満点中 5 割以上～8 割未満の得点	b	2
満点中 5 割未満の得点	c	1

(4) 取組全体レベル

4 つの基本目標の合計点を 3 段階で評価し、取組全体の評価と総合点を決める。

各基本目標の得点の合計 (12 点満点)	評価	総合評価内容	総合点
10～12 点	A	目標を達成できている	40
5～9 点	B	概ね目標を達成できている	20
4 点以下	C	目標を下回っている	10

(2) 外部評価

内部評価や各委員のご意見を踏まえ、内部評価の段階評価が妥当か協議し評価

A：目標どおりの成果が得られた

B：概ね目標どおりの成果が得られた

C：成果は得られたが、改善の余地がある

D：成果が得られなかった

6 用語について

「Ⅱ 令和４年度図書館事業評価」において、事業の実施主体を表す言葉として次の用語を用いる。

- ・ 「各図書館」：市立図書館、相模大野図書館、橋本図書館及び相武台分館の４館
- ・ 「公民館等図書室」：23 の公民館図書室と串川ひがし地域センター図書室、青野原図書室をあわせた 25 室
- ・ 「全館」：各図書館及び公民館等図書室

※ 上記以外で、複数の施設や個別の施設で実施した事業については、実施施設の名称を記載する。

7 図書館運営における新型コロナウイルス感染症の影響について

令和４年度は、オミクロン株の流行により感染拡大の波が繰り返され、夏季の第７波ではこれまでの波を上回る規模で感染が拡大するなど、昨年度に引き続き、図書館利用に係る人々の行動にも大きな影響を及ぼしたと考えられる。

そうした中で、本市図書館においては、本市の「市主催イベントの取扱方針」や、日本図書館協会の「図書館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」等に基づき、感染拡大防止を徹底した上で概ね通常どおりのサービス提供を行った。

参考：各年度の開館日数（日）

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度
市立図書館	259	240	291	291
相模大野図書館	259	240	291	291
橋本図書館	259	240	291	291
相武台分館	259	240	289	291
公民館等図書室 (25 室平均値)	233	226	273	272

※令和元年度・令和２年度は、令和２年３月２日から６日８日までの間臨時休館し、図書館ホームページの閲覧や予約を除くサービスを休止。

※令和３年度は、神奈川県への緊急事態宣言の発出に伴い、８月６日から９月３０日までの間、一部サービスの提供を休止。また、相武台分館については、館内消毒のため２日間臨時休館。

Ⅱ 令和４年度図書館事業評価

１ 成果指標の実績値

※下表の各項目について

①R4 実績	令和４年度の実績値（今回の評価対象）
②R4 評価基準値	令和４年度の進捗状況を測るための基準となる数値
③評価基準値比	①／②
④目標値	令和９年度の最終的な目標値
⑤達成率	①／④
⑥R3 実績	令和３年度の実績値
⑦前年比	①／⑥

※評価基準値以上となった項目は網掛け

成果指標	①R4 実績	②R4 評価基準値	③評価基準値比(%)	④目標値	⑤達成率(%)	⑥R3 実績	⑦前年比(%)
１ 市民登録率(%)	17.6	23.7	74.3	25.0	70.4	18.1	97.2
２ 18 歳以下の子どもの登録率¹⁾(%)	25.1	31.6	79.4	33.0	76.1	26.2	95.8
３ 新規登録者数(人)	13,388	16,003	83.7	16,200	82.6	13,381	100.1
市立図書館	2,844					3,017	94.3
相模大野図書館	2,728					2,779	98.2
橋本図書館	5,132					4,906	104.6
相武台分館	338					363	93.1
公民館等図書室	2,346					2,316	101.3
４ 来館者数(人)	1,360,702	1,889,832	72.0	1,913,000	71.1	1,318,817	103.2
市立図書館	422,656					411,905	102.6
相模大野図書館	376,776					389,937	96.6
橋本図書館	561,270					516,975	108.6

１ 18 歳以下の子どもの登録率：「子どもの読書活動の推進に関する法律」第２条に基づき、本成果指標の対象となる子どもの年齢を「18 歳以下」としている。

成果指標	①R4 実績	②R4 評価基準値	③評価基 準値比(%)	④目標値	⑤達成率 (%)	⑥R3 実績	⑦前年比 (%)
5 利用者の 満足度(%)	77.6	75.4	102.9	80.0	97.0	76.1	102.0
市立図書館	77.6					72.7	106.7
相模大野図書館	73.0					76.4	95.5
橋本図書館	77.0					83.6	92.1
相武台分館	73.7					70.0	105.3
公民館等図書室	87.2					77.1	113.1
6 図書館ホーム ページの一日平均 アクセス数(件)	4,416	29,526	15.0	30,000	14.7	4,618	95.6
7 レファレンスの 受付件数(件)	21,996	37,238	59.1	39,000	56.4	24,439	90.0
市立図書館	7,190					8,645	83.2
相模大野図書館	3,811					4,137	92.1
橋本図書館	8,112					8,107	100.1
相武台分館	2,883					3,550	81.2
8 地域資料の 蔵書数(冊)	84,512	85,010	99.4	92,500	91.4	83,583	101.1
市立図書館	39,815					39,540	100.7
相模大野図書館	18,916					18,581	101.8
橋本図書館	24,365					24,086	101.2
相武台分館	1,416					1,376	102.9
9 一般向け講座・講 演会等の参加者数 (人)	813	2,399	33.9	2,600	31.3	327	248.6
市立図書館	419					178	235.4
相模大野図書館	257					55	467.2
橋本図書館	137					94	145.7
相武台分館	0					0	—
10 「読書は好きで すか」という質問に「当て はまる」、「やや当ては まる」と回答した小・中 学生の割合(%)	68.7	71.3	96.4	75.0	91.6	71.9	95.5

2 基本的な統計の実績値（※各年度末時点の数値）

※下表の各項目について

①R4 実績	令和 4 年度の実績値
②R3 実績	令和 3 年度の実績値
③前年比	①／②

（１）市立図書館

項目	①R4 実績	②R3 実績	③前年比 (%)
職員数(人)	18	18	100.0
うち司書・司書補	8	6	133.3
資料費予算額 (千円)	46,731	16,170	289.0
図書購入費予算 額(千円)	27,757	12,588	220.5
図書購入冊数(冊)	10,714	5,798	184.8
図書受入冊数(冊)	12,873	9,616	133.9
登録者数(人)	32,979	33,824	97.5
うち市内在住者	30,310	30,903	98.1
蔵書冊数(冊)	356,305	356,985	99.8
うち一般書(冊)	272,169	269,401	101.0
うち児童書(冊)	84,136	87,584	96.1
視聴覚資料点(点)	12,079	12,021	100.5
雑誌タイトル数	210	207	101.4
貸出点数(点)	565,600	612,247	92.4
うち一般書	324,145	343,878	94.3
うち児童書	197,061	216,997	90.8
うち雑誌	24,720	27,974	88.4
うち AV 資料	19,674	23,398	84.1
貸出者数(人)	152,418	161,191	94.6
予約受付件数(件)	106,182	112,416	94.5
インターネット 利用件数(件)	5,433	4,629	117.4
オンラインデー タベース等利用 件数(件)	130	127	102.4
複写枚数(枚)	16,231	16,998	95.5

（２）市立図書館相武台分館

①R4 実績	②R3 実績	③前年比 (%)
5	5	100.0
3	3	100.0
2,366	2,299	102.9
1,600	1,589	100.7
1,278	1,203	106.2
1,682	1,776	94.7
4,396	4,531	97.0
4,003	4,131	96.9
43,962	43,167	101.8
25,581	24,970	102.4
18,381	18,197	101.0
—	—	—
46	46	100.0
82,738	91,530	90.4
57,141	59,907	95.4
20,979	26,450	79.3
4,618	5,173	89.3
—	—	—
25,494	27,137	93.9
20,237	21,981	92.1
1,123	1,084	103.6
—	—	—
347	637	54.5

(3) 相模大野図書館

項目	①R4 実績	②R3 実績	③前年比 (%)
職員数(人)	6	6	100.0
うち司書・司書補	3	2	150.0
資料費予算額 (千円)	15,832	14,801	107.0
図書購入費予算 額(千円)	11,356	10,392	109.3
図書購入冊数(冊)	6,217	5,307	117.1
図書受入冊数(冊)	7,824	8,421	92.9
登録者数(人)	31,791	33,144	95.9
うち市内在住者	28,524	29,478	96.8
蔵書冊数(冊)	303,389	302,887	100.2
うち一般書(冊)	226,818	226,408	100.2
うち児童書(冊)	76,571	76,479	100.1
視聴覚資料点(点)	11,233	11,219	100.1
雑誌タイトル数	226	233	97.0
貸出点数(点)	414,769	459,593	90.2
うち一般書	238,170	259,889	91.6
うち児童書	144,006	160,801	89.6
うち雑誌	18,300	20,641	88.7
うち AV 資料	14,293	18,262	78.3
貸出者数(人)	120,865	131,585	91.9
予約受付件数(件)	111,432	118,268	94.2
インターネット 利用件数(件)	3,395	3,819	88.9
オンラインデー タベース等利用 件数(件)	112	202	55.4
複写枚数(枚)	11,486	14,895	77.1

(4) 橋本図書館

①R4 実績	②R3 実績	③前年比 (%)
6	6	100.0
3	2	150.0
14,382	14,382	100.0
10,182	10,182	100.0
5,637	4,635	121.6
8,252	6,933	119.0
50,416	51,777	97.4
37,294	38,207	99.3
316,456	317,197	99.8
252,161	252,894	99.7
64,295	64,303	100.0
15,095	15,095	100.0
209	217	96.3
452,840	488,044	92.8
283,409	298,659	94.9
127,348	141,431	90.0
18,775	21,035	89.3
23,308	26,919	86.6
150,701	157,263	95.8
103,508	108,818	95.1
6,435	5,684	113.2
189	167	113.2
17,218	18,168	94.8

(5) 公民館等図書室

項目	①R4 実績	②R3 実績	③前年比 (%)
職員数(人)	—	—	—
うち司書・司書補	—	—	—
資料費予算額(千円)	7,223	7,223	100.0
図書購入費予算額(千円)	7,134	7,134	100.0
図書購入冊数(冊)	6,621	5,599	118.3
図書受入冊数(冊)	9,030	7,760	116.4
登録者数(人)	28,371	29,432	96.4
うち市内在住者	27,766	28,830	96.3
蔵書冊数(冊)	434,215	436,026	99.6
うち一般書(冊)	248,351	251,029	98.9
うち児童書(冊)	185,864	184,997	100.5
視聴覚資料点(点)	—	—	—
雑誌タイトル数	—	—	—
貸出点数(点)	742,464	773,689	96.0
うち一般書	430,948	449,441	95.9
うち児童書	296,055	308,686	95.9
うち雑誌	15,461	15,562	99.4
うち AV 資料	—	—	—
貸出者数(人)	229,744	235,686	97.5
予約受付件数(件)	262,811	271,655	96.7
インターネット利用件数(件)	211	92	229.3
オンラインデータベース等利用件数(件)	—	—	—
複写枚数(枚)	—	—	—

(6) 全館

①R4 実績	②R3 実績	③前年比 (%)
35	35	100.0
17	13	130.8
86,534※	54,875	157.7
58,029	41,885	138.5
30,467	22,542	135.2
39,661	34,506	114.9
147,953	152,708	96.9
127,897	131,549	97.2
1,454,327	1,456,262	99.9
1,025,080	1,024,702	100.0
429,247	431,560	99.5
38,407	38,335	100.2
691	703	98.3
2,258,411	2,425,103	93.1
1,333,813	1,411,774	94.5
785,449	854,365	91.9
81,874	90,385	90.6
57,275	68,579	83.5
679,222	712,862	95.3
604,170	633,138	95.4
16,597	15,308	108.4
431	496	86.9
45,282	50,698	89.3

※資料費予算額には、読書活動推進事業費の資料費（31,400 千円。電子書籍ライセンス利用料含む）を含む。

3 各図書館による自己点検・評価

3-1 市立図書館・市立図書館相武台分館

(1) 成果指標の検証

【市立図書館】

- ・ 全体の状況として、来館者数は前年比 103.2%と増加し、新規登録者数及びレファレンスの受付件数は減少した。
- ・ 来館者数は 422,656 人で、前年比 102.6%と増加した。月別に前年比を見ると、7 月までは減少したものの、8 月・9 月に大きく増加し、10 月以降はほぼ横ばいか微増で推移した。
- ・ 新規登録者数は 2,844 人で、前年比 94.3%と減少した。年代別に前年比を見ると、13～18 歳及び 50 歳以上の年代で増加し、30 代ではほぼ横ばいとなり、それ以外の年代で減少に転じた。
- ・ レファレンスの受付件数は 7,190 件で、前年比 83.2%と減少幅が大きかった。月別の受付件数では、最多は 7 月の 707 件、最少は 12 月の 493 件であった（平均は 599 件）。また、月別に前年比を見ると 4 月以外は減少しており、特に 10 月以降の下半期で約 1,000 件程度の減少となった。
- ・ 一般向け講座・講演会は、8 つの事業を開催し延べ 419 名が参加した。前年比で事業の開催回数が増加したことに伴い、参加者も 235.4%と倍増した。感染症対策として参加者数の制限は継続したことからコロナ禍以前の水準には及ばないものの、徐々に増加してきている。
- ・ 利用者の満足度は 77.6%で、前年比で 4.9 ポイント増加した。サービス別に傾向を見ると、昨年度同様「本の品ぞろえ」「職員の知識・対応」「図書館へのアクセス」の満足度が高いが、「本の品ぞろえ」のみ「満足」「やや満足」の割合が低下した。また、「不満」「やや不満」と回答した方についてサービス別に見ると、「本の品ぞろえ」や「資料を予約してから届くまでの提供時間」を重要視し、かつ満足していない傾向が見られた。

【市立図書館相武台分館】

- ・ 新規登録者数は前年比で 93.1%と減少した。新規登録者数の内訳を年代別に見ると、30 歳代、70 歳以上、7～12 歳の順に多く、昨年度と同様の傾向であった。前年比を見ると、子ども及び 60 歳代以上の世代で微増となった一方で、その間の年代では減少し、全体として減少となった。
- ・ レファレンスサービスの受付数は 2,883 件で、前年比 81.2%と減少幅が大きかった。月別の受付件数では、最多は 10 月の 287 件、最少は 4 月の 205 件であった（平均は 240 件）。8 月から 11 月までと 2 月・3 月は平均以上となったが、それ以外の月は平均を下回り、4 月・7 月の減少幅が特に大きかった。
- ・ 利用者の満足度は 73.7%で、前年比で 3.7 ポイント増加した。「不満」「やや不満」と回答した方について、サービス別に傾向を見ると、「職員の知識・対応」や「アク

セス」を重要視しかつ満足している一方で、「本の品ぞろえ」や「雑誌の品ぞろえ」を重要視しかつ不満が多い傾向が見られた。

(2) 主な取組の実施状況

【市立図書館】

- ・ 子育て世代への情報支援の拡充及び利用促進を図るため、読書活動推進事業の取組の一環として育児書を購入し充実を図るとともに、子育て関連リーフレットや、おはなし会等の図書館が発行する情報誌を集め、育児書と併せて「子育て支援コーナー」を新設した。

令和4年度末時点で493冊の図書を配架し、2,608回の貸出（蔵書回転率²⁾ 5.3）があった。従来から利用の多い分類に加え、育児書の枠では探しにくい分類からも資料を集めることで、一定の利用促進につながった。

- ・ 身近な拠点である公民館等図書室のサービス向上の取組として、中央区の公民館図書室に市立図書館の資料を提供し、図書室での企画展示を支援した（依頼件数5件：289冊提供）。公民館の主催事業に合わせた展示等に資料を提供することで、地域住民にとって身近な本との出会いや、公民館活動に関する情報収集の場となるような支援に努めた。
- ・ 市内・近隣大学との連携による新たな企画展示の取組として、女子美術大学相模原図書館との連携展示を実施した。同図書館が所蔵する特色あるコレクション（染織文化資源関連図書）の一部を借用し、市立図書館の関連資料と併せて展示することにより、大学図書館のコレクション紹介と、図書館資料の活用を図った。
- ・ 市民が必要な情報を適切に活用するためのイベントとして、「大人の図書館見学～図書館の魅力再発見！～」を実施し、8名の参加があった。図書館の分類や本の並び方などの説明や、館内の見学などを通じて、図書館を有意義に活用し、情報リテラシーの向上につなげることを目指した。
- ・ 中央図書館機能の確立・充実及び施設面に関わる機能について、中央図書館機能検討チームによる図書館内部での検討を行った。また、図書館協議会においては、蔵書や組織のあり方について意見を伺った。
- ・ 館内での滞在利用環境の改善及び図書購入費確保の取組として、2階大集会室前の給水スペースに自動販売機を設置した。

【市立図書館相武台分館】

- ・ 子どもが読書の楽しさを知るきっかけづくりとして、読み聞かせのボランティア団体（2団体）との協働で「おはなし会」を開催した。

令和4年度は49回開催し延べ334人が参加した。令和3年度（32回・211人）と比較し、開催回数、参加者数ともに増加しており、コロナ禍の中でも子どもや子

2 蔵書回転率：蔵書1冊当たりの貸出回数を示す指標で、貸出冊数÷蔵書冊数で求める。

育て世代に身近な居場所としての役割が果たされた。

(3) 基本的な統計の検証

【市立図書館】

- ・ 貸出冊数は 565,600 冊（前年比 92.4%）、貸出者数は 152,418 人（前年比 94.6%）と、個人館外貸出の数値としては減少した。来館者数は 422,656 人と増加した一方で、新規登録者及び累計登録者数³⁾は減少しており、貸出利用の増加にはつながらなかった。
- ・ 蔵書冊数は 356,305 冊（うち開架 169,090 冊）で、前年比 99.8%と微減となった。蔵書冊数減少の理由として、児童書の受入冊数が増加した一方で、子ども団体貸出資料を学校等に提供し、有効活用を図ったことにより、全体としては微減となった。
- ・ 資料費の大幅な増加については、全体の取組として後述する電子書籍サービス及び「くるくる としょかん」の事業実施に伴い、市立図書館に予算が計上されたことによるもの。

【市立図書館相武台分館】

- ・ 蔵書数は 43,962 冊で、前年比 101.8%と増加した。
- ・ 貸出冊数は 82,738 冊（前年比 90.0%）、貸出者数は 25,494 人（前年比 93.9%）と減少した。

3 累計登録者数：新規登録者を含む、有効な登録利用者の合計。

(1) 成果指標の検証
- 新規登録者数は、全体では前年比 100.1%と微増であるが、相模大野図書館に限ると、98.2%と減少している。 - 来館者は、コロナ禍におけるイベントなどの制限も解除されたものの、前年比 96.6%と減少となった。8月、9月の夏季に前年を上回ったが、それ以降伸び悩んだ。 - 利用者の満足度については、前年度「満足」と「やや満足」を合わせて 76.4%であったが、今年度は 73.0%と減少している。本の品揃えについて重要視する傾向があり、満足していないことが考えられる。 - レファレンスの受付件数については、前年比 92.1%と件数が減少している。 - 地域資料の蔵書数については、行政資料を中心に、微増ではあるが順調に蔵書数が増加している。 - 一般向け講座・講演会も実施されるようになり、大人のためのおはなし会も再開したことなどもあり、参加者が大きく増加した。
(2) 主な取組の実施状況
- 定例のおはなし会を年齢別に編成し、2歳から3歳までの幼児と保護者対象に毎月第1・第3水曜日、4歳から6歳までの幼児と保護者を対象に毎月第2・第4水曜日に実施した。前者は全 38 回実施し参加者は延べ 262 人、後者は全 21 回実施し参加者は延べ 113 人だった。その他にボランティアサークルによるおはなし会を月 3 回、全 30 回実施し参加者は延べ 310 人だった。 - 乳幼児とその保護者を対象に、「親子で遊ぼう！わらべうた会」や「絵本で子育てワークショップ」を実施し、読み聞かせやわらべうたをとおして、親子で触れあう機会の演出を、図書館の利用促進につなげる目途で実施した。それぞれ年 4 回実施し、延べ 147 人が参加した。 - 絵本『ラヴ・ユー・フォーエバー』（ロバート・マンチ／著 岩崎書店 1997 年）の原画展を実施した。A3 サイズの原画 15 枚を 2 日間にわたって展示を行った。会場には BGM を流すなどの演出をした。また、大人のためのおはなし会として、翻訳者である乃木りか氏による読み聞かせも実施した。来場者は 90 人、おはなし会は 38 人が参加した。 - 一般対象の講座として、「製本体験講座」を実施した。講師として、神奈川総合産業高校図書室学校司書の先生にご協力いただいた。A5 サイズの手帖を製作するといった内容で、夫婦、親子、20 歳代など様々な年齢層で幅広く、15 人の参加があった。参加者にはたいへん喜ばれた。 - 相模女子大学高等部からの依頼に応じ、5 月と 11 月に読み聞かせ指導と絵本の貸し出しを実施した。参加した学生は延べ 30 人だった。読み聞かせ指導の後、相模女子大学幼稚部において、読み聞かせの実践を行った。

- ・ 他に近隣の学校との連携した事業として、他におすすめの本のコメントをカードに書いて掲示する「読書の木」を実施した。また、不用となった資料を、南区内の保育園に合計 339 冊提供するといった取組もあった。

(3) 基本的な統計の検証

- ・ 図書購入予算が 9.3%増となり、購入冊数も 17.1%増え、蔵書新鮮度⁴⁾が、令和 3 年度が 1.8%に対し令和 4 年度は 2.0%となった。受入冊数が減少しているが、寄贈受入れが少なかったためと考えられる。
- ・ 蔵書数は増えたものの、利用が思うように伸びていない。貸出点数はおよそ 9.8%減、貸出者数がおよそ 8.1%減となっている。
- ・ 予約件数は、読みたい本が見つからないことの裏返しともいえるが、およそ 5.8%減となっている。登録者数は 4.1%減とはいえ、下げ幅が大きい。貸出者一人当たりの貸出冊数は、令和 3 年度は 3.5 冊だったところが、令和 4 年度は 3.4 冊と減少した。これは、旧伊勢丹跡地の整備の遅れにより、駅から迂回しなければ来館できないことが影響していると考えられる。
- ・ レファレンスの件数について、令和元年度には 8,502 件だったものが、令和 4 年には、3,811 件と減少が止まらなくなっている。市立図書館、橋本図書館では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で件数が減少し、令和 4 年度にかけて回復傾向にある。予約と同様の要因で、利用者の足が遠のいていると考えられる。
- ・ 前述のとおり、相模大野駅からのアクセスが不便なことから、利用者アンケートで駅前に返却ポストの設置の希望が多かった。それを受けて、令和 5 年 7 月 20 日に相模大野駅のペDESTリアンデッキ上に、返却ポストを設置したところである。利便性を高めたこの取組が、今後どのような影響を及ぼすか見守りたい。

4 蔵書新鮮度：蔵書のうち新しく受入した資料がどれだけ含まれるかを測る数値で、新規受入冊数÷蔵書冊数で求める。

(1) 成果指標の検証
・ 立地や利便性を考慮した蔵書構成や多くの世代に向けたイベントの開催により、来館者数は前年比で 108.6%増の 561,270 人で、新規登録者数も前年度と比較して 104.6%増の 5,132 人となった。 ・ レファレンスの受付件数では昨年度から微増して 8,112 件となった。また、平成 21 年以降継続して登録件数を伸ばしている「レファレンス協同データベース」では、令和 4 年度も 49 件の事例の登録を行い、被参照数（アクセス数）は年間累計で 227,356 件に上った。 ・ 利用者満足度については前年度と比較して 3.6 ポイント減少となったが、77.0%と前年度同様に高い水準を保持しており、アンケートの自由意見等からも満足度が高いことが窺える結果となっている。
(2) 主な取組の実施状況
・ 年に 2 回、管轄公民館等図書室を巡回し、現状視察のほか各館の状況を聞き、それぞれの図書室が抱える悩み等の解決を図ったほか、要望のあった図書室には個別の研修や図書室に出向いてアドバイス等を行った。 ・ 毎年 5 月 5 日のこどもの日に合わせて行う「こどもまつり」では大型絵本の展示やクイズ等を実施し、おはなし会には延べ 45 人が参加した。 ・ 平成 17 年から始めた「YA 大賞」も 18 回を迎え、令和 4 年度は中学生・高校生を対象に「短編小説部門」と「詩部門」の 2 つの分野でオリジナル作品を募集した。短編小説部門 5 作品、詩部門 1 作品の応募があり、各部門それぞれ大賞が選ばれた。 ・ 「図書館と市民をつなぐ会・相模原」との共催で「ウィキペディアタウン in さがみはら@橋本」を開催し、ウィキペディアに橋本周辺の歴史スポットを調査した結果を記事にまとめ、掲載した。 ・ 「親子おこづかい教室」では、神奈川県金融広報アドバイザーを講師に招き、親子でお金の大切さを学ぶ講座を開催し、合わせて関連本を展示した。 ・ 入口すぐ横のメイン展示では小・中学生向けの SDGs の本を展示し、展示期間後半には「SDGs 本を読んで未来を絵にするコンクール」の入選作品も同時に展示し、234%の蔵書回転率となった。 ・ 市役所の各部署と連携した行政情報の発信については、返却期限票の裏面活用による PR や「庁内情報展示」としてさまざまなテーマに沿った資料の展示を行い、市民への周知と利用促進を図った（庁内情報展示：年 21 回）。 ・ 「ミニ展示」と称して各分類の書架の一部に小さな展示コーナーを作り、テーマに沿って本の表紙を見せる展示をすることにより、書架に背表紙が並んでいるだけでは手に取ることの少なくなった本にスポットライトを当てて利用促進を図った（年 7 回）。

- ・ 橋本商店街協同組合主催の「第 11 回橋本まちゼミ」および「第 12 回橋本まちゼミ」で行う各講座のテーマに関連する資料をブックリスト「橋本まちゼミ LibraryNAVI」にまとめ、配布することにより、利用促進を図った。
- ・ ミウィ橋本からの依頼で、橋本図書館とミウィ橋本のコラボキャンペーンとして、図書館で本を借りた人に応募用紙を渡し、買い物をしたレシートとともにインフォメーションカウンターに持参するとお買物券をプレゼントするというイベントを実施した。

(3) 基本的な統計の検証

- ・ 図書購入費予算は前年比で同額であったが、市民への寄贈の呼びかけ等により寄贈による受入も 1,581 冊に上り、図書受入冊数は合計で 8,252 冊（前年比 119%）となった。
- ・ 館内各所で様々なテーマでの展示を開催し、それに伴うブックリストの発行等を行なった結果、席数の制限等があったにもかかわらず多くの入館者があった。しかし、通勤・通学途中で立ち寄る利用者が多いためか、1 度に借りる冊数が少なく、貸出点数については前年度を 7.2%下回る結果となってしまった。
- ・ インターネット利用件数も前年比で 113.2%の 6,435 件、オンラインデータベースの利用件数も 113.2%の 189 件となっており、橋本図書館の特徴の 1 つでもある研修室やマルチメディア体験室が利用者に多く利用されていることがわかる。

4 内部評価

(1)段階評価

総合評価：B（概ね目標どおりの成果が得られた） 55点／100点

〔総合評価の点数の内訳〕

	項目及び評価	点数
1	成果指標の達成項目による評価（C）	15／60
2	施策の取組状況による評価（A）	40／40

評価内訳

- 成果指標の達成項目による評価（C：10項目中、1～4項目で達成）

	達成した項目（単位）	R4 評価基準値	R4 実績値
1	利用者の満足度（％）	75.4	77.6

※未達成項目も含む成果指標全体の状況については、p.5～6「成果指標の実績値」と、p.19～22「成果指標の検証」に記載

- 施策の取組状況による評価（A：目標どおり）

基本目標 1 生涯にわたる豊かな学びを提供する図書館		評価 a（得点 3）		
「（2）施策の方向」の評価の合計点が、12点／15点（8割）				
（1）主な施策	実施	（2）施策の方向	評価	得点
・市民の多様な読書・情報ニーズに対応する蔵書構築	○	①蔵書の充実 （○4／施策数4＝10割）	◎	3
・資料選定の効果的な実施	○			
・テーマ性のあるコーナー設置や排架・展示の工夫	○			
・保存機能充実にに向けた検討	○			
・快適な読書環境の提供	×	②利用環境の充実 （○3／施策数6＝5割）	○	2
・ユニバーサルデザインに配慮した利用環境の整備	○			
・くつろいで読み聞かせができるスペースや学習スペースの確保	×			
・Wi-Fiによるインターネット環境の提供	○			
・飲食のできるスペースの検討	×			
・ICTを活用しながらグループでの学習や話し合いができる など多様な活動に対応できるスペースの検討	○			
・公民館等図書室の利用促進に向けた資料選定等の支援	○			
・公民館等図書室への図書館が所蔵する資料の配本や 配送システムの充実の検討	○	③より身近な図書館サービスの提供 （○3／施策数4＝7.5割）	○	2
・公民館等の図書室職員の研修会等の実施	○			
・図書館サービスが十分行き届いていない地域への対応 として、図書の受取や返却ができる場所の検討	×			
・各世代のニーズに対応したサービス展開	○	④多様な利用者に向けたきめ細かい サービスの充実 （○4／施策数4＝10割）	◎	3
・障害のある方の利用機会の充実	○			
・国際化に対応した資料や利用環境の整備	○			
・図書館・図書室への来館（室）が困難な方に向けた貸出サービスの検討	○			
・オンラインデータベースやインターネット上の情報 資源を活用した情報提供の充実	○	⑤ICTを活用したサービス向上 （○3／施策数4＝7.5割）	○	2
・電子書籍の導入に向けた検討	○			
・デジタルアーカイブの導入に向けた検討	○			
・ICタグの導入など先端技術を活用したサービスの検討	×			

基本目標 2 市民や地域に活力を与える図書館		評価 a (得点 3)		
「(2) 施策の方向」の評価の合計点が、11点/12点 (9.2割)				
(1) 主な施策	実施	(2) 施策の方向	評価	得点
・レファレンスサービスの充実	○	①課題解決支援の充実 (○6/施策数6=10割)	◎	3
・ライフステージに寄り添った情報提供の充実	○			
・社会問題に対応した情報提供の充実	○			
・ビジネス支援の充実	○			
・情報活用能力向上の支援	○			
・市内・近隣大学との連携	○			
・健康・福祉・産業振興・多文化共生などの施策との連携による情報提供	○	②行政テーマと連携した情報提供・発信	◎	3
・市職員に対する情報提供	○	(○2/施策数2=10割)		
・地域資料の積極的な収集・整理・保存	○	③地域資料の収集・活用・継承	◎	3
・地域資料の情報発信や活用推進	○	(○2/施策数2=10割)		
・いきいきした暮らしや新たな関心につながる講座・講演会等の実施	○	④本や人との出会い、交流の創出 (○1/施策数3=6.6割)	○	2
・世代間など多様な交流の機会・場の提供	×			
・自己実現や地域活性化に資するボランティア養成・支援	○			

基本目標 3 子どもが読書を楽しみ「生きる力」を育む図書館		評価 a (得点 3)		
「(2) 施策の方向」の評価の合計点が、9点／9点 (10割)				
(1) 主な施策	実施	(2) 施策の方向	評価	得点
・子どもにとって身近な施設である公民館等図書室の利用促進	○	①子どもが読書にふれあう機会の充実 (○8／施策数8＝10割)	◎	3
・児童書及び青少年向け資料の充実	○			
・子ども向けレファレンスサービスの充実	○			
・中学生・高校生の活動支援・居場所づくり	○			
・電子書籍の導入検討	○			
・障害のある子どもが利用しやすい資料の充実及び読書環境の整備・拡充	○			
・外国につながるのある子どものニーズに合った資料及びPRの充実	○			
・子ども資料団体貸出制度の活用促進に向けた配送方法の検討など学校等関係機関との連携強化	○			
・おはなし会やブックトーク等事業の実施・充実	○	②読書の楽しさを伝えあう取組の推進 (○6／施策数7＝8.6割)	◎	3
・親子等で楽しめる読書環境の整備・拡充	○			
・中学生・高校生を対象とした事業の拡充	○			
・子ども読書の日や読書週間等を捉えた普及啓発イベントの開催	○			
・図書館ホームページ等による読書活動に関連する情報発信	○			
・学生ボランティアの事業への参画	×			
・学生ボランティアとの協働による青少年向けコーナーの充実	○			
・読み聞かせ講座の実施など保護者に対する読書活動への理解の促進	○	子どもの読書応援隊の支援 (○5／施策数5＝10割)	◎	3
・保護者向け読書情報など家庭における読書活動への支援	○			
・ボランティアとの協働によるおはなし会等の事業の開催	○			
・ボランティア養成等の各種講座の開催	○			
・ボランティア団体の活動情報の集約及び情報提供	○			

基本目標 4 将来にわたり進化し続ける図書館		評価 a (得点 3)		
「(2) 施策の方向」の評価の合計点が、8点／9点 (8.9割)				
(1) 主な施策	実施	(2) 施策の方向	評価	得点
・ 社会情勢の変化や市民ニーズに的確に対応した全市的サービスの企画・推進	○	①中央図書館機能の確立・充実 (○4／施策数6＝6.7割)	○	2
・ 資料の収集・保管の統括及び本市図書館全体を捉えた資料構築	×			
・ 図書館ネットワーク（電算システム・配送）の管理・運用	○			
・ 関係機関、団体等との全市的な連携の推進	○			
・ 充実した資料群、設備、専門的人材による、多様化、高度化するニーズに対応したサービスの提供と地域図書館や公民館等図書室の支援	×			
・ 中長期的な視点による専門的な人材の確保・育成	○			
・ 地域の特性やニーズ、課題に応じたサービスの充実	○	②地域図書館における地域に根差したサービスの充実 (○5／施策数5＝10割)	◎	3
・ 地域の情報拠点として市民の学びと暮らしを支える幅広い情報を提供	○			
・ 近隣の学校や地域団体、ボランティアと連携した事業展開	○			
・ 生涯学習の機会、交流・発表の場の提供	○			
・ 地域におけるサードプレイスとしての役割	○			
・ 市民・関係機関・団体との連携・協働の推進	○			
・ 図書館事業評価の実施と図書館サービスへの反映	○	③効果的・効率的な図書館運営 (○7／施策数7＝10割)	◎	3
・ 民間活力の効果的な活用による図書館サービスの向上	○			
・ ホームページやSNSなどにおける効果的な情報発信など 図書館プロモーションの推進	○			
・ 図書館、視聴覚ライブラリーの資料及び提供サービスの一体化の推進	○			
・ 専門的職員の計画的な確保・充実	○			
・ 図書館職員研修の充実	○			

(2)成果指標の検証

【各指標の検証】

①全体の傾向

・ 評価基準値を上回った成果指標は 1 項目（利用者の満足度）で、 3 項目達成した前年と比べて減少した。

・ 前年比では、10 項目の成果指標のうち 5 項目で増加となった。
緊急事態宣言中に館内での一部サービスを休止した前年度と比較し、感染症対策を講じながら概ね通常通りのサービスを継続したことで、来館者数、新規登録者数等は前年比で増加したが、レファレンスサービスの受付件数は減少した。

②市民登録率（17.6%）

・ 評価基準値（23.7%）を下回った。前年比でも 0.5 ポイント減少した。

・ 市内在住の登録者数の累計は 127,897 人で、前年比 97.2%（3,652 人減）となったことで、市民登録率も減少した。

③18 歳以下の子どもの登録率（25.1%）

・ 評価基準値（31.6%）を下回った。前年比でも 1.1 ポイント減少した。

・ 18 歳以下の子どもの登録者数が前年比 94.2%（1,630 人減）となり、登録率も減少した。なお、同年代の市人口は前年比 98.4%であり、人口に比べ登録者の減少率がやや高い

(2)成果指標の検証

【各指標の検証】

①全体の傾向

- ・ 評価基準値を上回った成果指標は1項目（利用者の満足度）で、3項目達成した前年と比べて減少した。
- ・ 前年比では、10項目の成果指標のうち5項目で増加となった。

緊急事態宣言中に館内での一部サービスを休止した前年度と比較し、感染症対策を講じながら概ね通常通りのサービスを継続したことで、来館者数、新規登録者数等は前年比で増加したが、レファレンスサービスの受付件数は減少した。

②市民登録率（17.6%）

- ・ 評価基準値（23.7%）を下回った。前年比でも0.5ポイント減少した。
- ・ 市内在住の登録者数の累計は127,897人で、前年比97.2%（3,652人減）となったことで、市民登録率も減少した。

③18歳以下の子どもの登録率（25.1%）

- ・ 評価基準値（31.6%）を下回った。前年比でも1.1ポイント減少した。
- ・ 18歳以下の子どもの登録者数が前年比94.2%（1,630人減）となり、登録率も減少した。なお、同年代の市人口は前年比98.4%であり、人口に比べ登録者の減少率がやや高い

状況にある。

- ・ 年代別に登録者数の前年比を見ると、0～6 歳は令和元年度から増加傾向にあり、今年度も 103.1%と増加した。7～12 歳と 13～18 歳の年代については昨年度と同様減少し、13～18 歳については新規登録者数が増加したものの、累計の登録者数では 91.4%と最も減少が大きかった。

④新規登録者数（13,388 人）

- ・ 評価基準値（16,003 人）を下回った。
- ・ 前年比では 100.1%（8 人増）と微増で、13～18 歳及び 50 歳代以上で増加した。
- ・ 年代別に前年比を見ると 70 歳以上が 116.5%と最も大きく、次いで 13～18 歳（108.4%）、60 歳代（108.0%）の順となっている。また、施設別に見ると、橋本図書館及び公民館等図書室で増加した。
- ・ 新規登録者数は増加したものの、登録者数全体としては 147,953 人で、前年比 96.9%と減少した。新規登録者数に比べ、有効期限切れ等による登録者の減少が上回り減少となった。

⑤来館者数（1,360,702 人）

- ・ 評価基準値（1,889,832 人）を下回った。
- ・ 前年比では 103.2%（41,885 人増）となった。また、開館日 1 日平均でも 103.2%と増加した。
- ・ 月別に前年比を見ると、7 月までは減少で推移したものの、8 月以降は概ね増加傾向で推移した。令和 3 年度は 8 月・9 月に緊急事態宣言により滞在利用サービスを縮小したことから、通常サービスを実施した今年度は両月で増加率が高かった。
- ・ 来館者数は増加したが、貸出やレファレンスといったサービス利用の数値は減少している。感染者数の増加という社会的状況も踏まえると、貸出利用等を行う実利用者の数としては増加しておらず、図書館利用を控える傾向は続いていると考えられる。

⑥利用者の満足度（77.6%）

- ・ 評価基準値（75.4%）を上回った。令和 9 年度の目標値に対する達成率は 97.0%と、他の成果指標と比べ高い水準にある。
- ・ 前年比では、102.0%（1.5 ポイント増）となった。回答対象者 1,163 名のうち、「満足」が 333 名（28.6%）、「やや満足」が 570 名（49.0%）であった。
- ・ 館別に前年比を見ると、市立図書館、相武台分館、公民館等図書室で増加し、相模大野図書館、橋本図書館で減少している。特に公民館等図書室は 87.2%で、前年より 10.1 ポイント増加した。
- ・ サービス別の満足度を見ると、「職員の知識・対応」と「図書館へのアクセス」に対する評価は高く、総合的な満足度で「不満」「やや不満」と答えた方でも、2 項目の満足度は高かった。

一方で、「本の品ぞろえ」や「本等を予約してから利用できるまでの時間」に対して「やや不満」「不満」の回答が多く、次いで「CD・DVDの品ぞろえ」、「資料の探しやすさ」と続いており、図書館資料の品ぞろえに関することと、資料利用の利便性に関することについて不満が多い結果となった。

- ・ 不満が多い項目を踏まえると、利用者の満足度向上には、図書館資料の品ぞろえの充実及び資料利用の利便性向上が課題である。今年度は電子書籍サービスや読書活動推進事業の試行導入により資料の充実や利便性向上に努めたが、両事業の主な利用者層（主に中学生までの子ども）と、アンケート回答者の年齢層（主に16歳以上）の重なりが小さいため、アンケートの満足度にはあまり影響がなかったと考えられる。

⑦図書館ホームページの一日平均アクセス件数（4,416件）

- ・ 評価基準値（29,526件）を大きく下回り、乖離が著しい。
- ・ 本指標の対象となるトップページでは、各図書館においてお知らせやイベント、展示等の情報発信に努めているものの、年間を通じて大きくアクセス数が上下する傾向は見られなかった。電子書籍サービスを開始した9月1日直後は、電子書籍サービスへのアクセスから平均を上回るアクセスがあったが、一時的な増加に留まった。
- ・ 前年比では95.6%（202件減）となった。月別に前年比を見ても、11月、2月、3月で増加したものの、それ以外の月では減少している。
- ・ トップページへのアクセスは減少傾向にある一方で、資料検索ページへの一日平均アクセス数は49,982件（前年比135.1%）と増加しており、図書館ホームページへのアクセス自体は維持されている。

⑧レファレンスの受付件数（21,996件）

- ・ 評価基準値（37,238件）を下回った。
- ・ 前年比では90.0%（2,443件減）となった。
- ・ 月別に前年比を見ると、8月は橋本図書館の増加が大きく全体でも増加となったが、それ以外の月では減少した。特に年度後半の10月以降の減少幅が大きかった。月の平均の受付件数は1,833件で、最大値は7月の2,163件、最小値は12月の1,575件であった。
年度後半の減少傾向は、市立図書館・相模大野図書館・橋本図書館で共通であった。一因として、新型コロナウイルス感染症の拡大傾向（新規陽性者の増加）により、対面での問い合わせや、滞在時間の増加を避ける傾向があったのではないかと考えられるが、電話による受付も減少しており、要因は特定できない。
- ・ 令和3年度にサービスを開始したメールレファレンスについて、令和4年度の実績は16件で、昨年度の12件と比べ増加はしたものの、広く活用されるには至っていない。

⑨地域資料の蔵書数（84,512冊）

- ・ 評価基準値（85,010冊）を下回った。令和9年度の目標値に対する達成率は91.7%と、他の成果指標と比べ高い水準にある。

- ・ 前年比では 101.1%（929 冊増）と増加した。他方で、寄贈冊数は減少傾向にあり、購入及び寄贈冊数いずれも前年比で減少し、除籍数は増加したことから、評価基準値には届かなかった。
- ・ 購入については、地域資料に該当する資料の出版点数は限られることから、広く情報収集を行い、購入に漏れがないように努めたい。

⑩一般向け講座・講演会等の参加者数】（813 人）

- ・ 評価基準値（2,399 人）を大きく下回り、乖離が著しい。
- ・ 前年比では 248.6%（486 人増）と増加した。人数制限等の感染症対策を講じながらではあるものの、昨年度はオンラインで開催した事業を対面に戻したり、昨年度から参加者数が増えたりしたことにより、増加となった。

⑪【「読書は好きですか」という質問に「当てはまる」、「やや当てはまる」と回答した小・中学生の割合（68.7%）

- ・ 評価基準値（71.3%）を下回った。令和 9 年度の目標値に対する達成率は 91.6%と、他の成果指標と比べ高い水準にある。
- ・ 前年比でも 95.5%（3.2 ポイント減少）となった。

(3)主な取組について

1 読書活動推進事業の実施

電子書籍サービスや子ども読書資料循環制度「くるくる としょかん」の試行導入により、来館しなくても本に親しめる機会を拡充することができた。また、読書活動推進事業として児童書を購入することにより、子どもの読書環境を充実することができた。

【電子書籍サービスの開始（9月～）】

ウィズコロナ・アフターコロナの時代を見据え、身近なスマートフォンやタブレット端末等から Web サイト上で電子書籍を利用することができるサービス（電子書籍サービス）を提供することにより、図書館の非来館型サービスを拡充した。

また、学校での学習活動や児童生徒の自宅等での学習に当該サービスを活用することができるよう図書館と学校が連携して取組を実施することにより、1 人 1 台端末等の ICT 環境を活用した「新しい学び」を推進した。

※電子書籍サービスの利用実績

ア.利用者数（実人数）（単位：人）

小学生	中学生	一般	合計
15,596	3,535	1,321	20,452

イ.延べ閲覧回数（単位：回）

小学生	中学生	一般	合計
219,816	26,192	9,716	255,724

【くるくる としょかん（子ども読書資料循環制度）の開始（9月～）】

子どもがより多くの本に出会い、気軽に本に触れられるよう、図書館職員が選んだ絵本や紙芝居等の「おすすめ児童書セット」を、定期的に子どもの身近にある施設の間で循環させる取組（「くるくる としょかん」（子ども読書資料循環制度））を令和4年9月から開始した。

令和4年度は、市立の子ども関連施設 119 箇所（保育園、幼稚園、認定こども園、児童クラブ、こどもセンター、児童館、児童相談所及び陽光園）を対象に、1 セット 30 冊の児童書を入れたコンテナを2ヶ月ごとに循環した。

※子ども読書資料循環制度「くるくる としょかん」の循環実績

ア.児童書セットの循環実績（単位：回）

施設区分	施設数	循環実績
保育園・こども園・幼稚園	26	延べ 104 回 9 月、11 月、1 月、3 月（2 か月ごと）
児童クラブ	44	延べ 176 回 9 月、11 月、1 月、3 月（2 か月ごと）
こどもセンター	24	延べ 96 回 9 月、11 月、1 月、3 月（2 か月ごと）
児童館・児童室	23	延べ 92 回 9 月、11 月、1 月、3 月（2 か月ごと）
児童相談所	1	延べ 2 回 10 月、1 月（3 か月ごと）
陽光園（療育センター）	1	延べ 2 回 10 月、2 月（4 か月ごと）
合計	119	延べ 472 回

【児童書の充実】

子どもが本にふれあう機会を増やし、子どもの読書活動の推進を図るため、児童書等約 1 万冊を購入し、図書館 4 館及び公民館等図書室の蔵書としたほか、「くるくる としょかん」等の事業に活用した。

※児童書の受入実績

令和4年度受入冊数（購入のみ）：14,235 冊）

（令和3年度受入冊数（購入のみ）：6,240 冊）

2 SDGs に関する普及啓発

本市の施策と連携した取組として、令和2年度から継続的に SDGs に関する普及啓発の展示等を実施している。今年度は、みんなの SDGs 推進課と連携し、「SDGs 本を読んで未来を絵にするコンクール」入選作品を展示したほか、さがみはら SDGs スタンプラリーにスタンプ設置施設として参加した。

3 公衆無線 LAN の導入（8月～）】

ICT を活用した利便性向上に資する新たなサービスとして、令和4年8月から、市立図書館、相模大野図書館、橋本図書館で公衆無線 LAN サービスの運用を開始した（令和4年度

実績：8,694 件)。図書館で設置しているインターネット端末の利用と合わせ、館内での調査研究や情報収集の基礎的な環境としての活用を想定しており、利用状況としては導入時から増加傾向で推移した。

(4)基本統計の検証

【図書館資料に関する統計】

- 資料費予算額は 86,534 千円で、前年比 157.7% (31,659 千円増) となり、それに伴い図書購入冊数も 30,467 冊と、前年比 135.2% (7,925 冊増) となった。増加の理由として、相模原市総合計画推進プログラム（令和 4 年度～令和 6 年度）に子どもの読書推進事業が位置付けられ、その事業費として電子書籍サービスの実施と、くるくる としょかん等における児童書の充実を図るために計上されたものである。
- 蔵書冊数は 1,454,327 冊で、前年比 99.9% (1,935 冊減) とほぼ横ばいであった。資料別に前年比を見ると、一般書は微増、児童書は微減となった。児童書については、読書活動推進事業による充実を図るとともに、子ども資料団体用資料として保管していた資料の利活用として学校図書館へ移管したことから減少となった。
- 蔵書数はほぼ横ばいだったものの、寄贈も含めた受入冊数は 39,661 冊で前年比 114.9% と増加し、それに伴い蔵書新鮮度は 2.4% から 2.7% に、開架新鮮度⁵⁾は 3.6% から 4.1% に向上している（くるくる としょかん等における児童書の充実を含む）。
- 指定都市の図書館と比較すると、蔵書冊数としては最も少ない状況が続いている。引き続き蔵書の量の充実を図るとともに、適切な蔵書更新により蔵書の新鮮度を高める必要がある。

【利用に関する統計】

- 貸出点数は 2,258,411 点 (93.1% / 166,692 点減)、貸出者数は 679,222 人 (95.3% / 33,640 人減)、予約受付件数は 604,170 件 (95.4% / 28,698 件減) と、いずれも前年比で減少した。令和 3 年度は、開館日の増加もあり令和元年度を超える程度まで戻ったものの、今年度はコロナ禍以前の水準には届かず、全体的に減少となった。
他方で、貸出点数等には表れないものの、コロナ禍における生活様式の変化に対応する取組として、電子書籍サービスやくるくる としょかんによる非来館型のサービスを試行実施し、来館による貸出以外の形での利用拡充を図ることができた。
- 貸出点数の前年比を年代別に見ると、いずれの年代でも減少している。年代別／資料種別で減少点数の傾向を見ると、40 代の児童書の利用が最も多く減少し、次いで 40 代の一般書、7～12 歳の児童書、30 代の児童書、60 代の一般書と続いている。昨年度は子ども及び子育て世代で増加傾向が見られたが、今年度は小学生及び子育て世代の児童書の減少幅が大きかった。
- 予約受付件数については、過去最多となった前年度からは減少したものの、中長期的に見ると増加傾向で、コロナ禍以前より多い水準を維持している。

5 開架新鮮度：開架書架にある蔵書のうち新しく受入した資料がどれだけ含まれるかを測る指標で、新規受入冊数÷開架蔵書冊数で求める。

5 外部評価

(1)段階評価

総合評価：C（成果は得られたが、改善の余地がある）

- ・ 子どもの読書環境を充実する取組について評価したい
- ・ 成果指標の達成状況については憂慮すべき状況である

(2)総評

相模原市立図書館協議会は、令和4年度相模原市図書館事業評価（案）を熟読して、令和5年度第2回相模原市立図書館協議会で確認した評価枠組みに基づき、相模原市立図書館による内部評価手続きが適切に行われていることを確認した。

令和4年度も新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は図書館の運営に大きな影響を与えていた。しかし、令和2年度や3年度と比べると相対的には軽微であり、いわゆる「アフターコロナ」の図書館の在り方を模索した年度であるといえる。

本年度の取組の中で「くるくる としょかん」（子ども読書資料循環制度）や電子書籍サービスをはじめとする子どもの読書環境を充実するための取組は、改善のための一部指摘は寄せられているが協議会委員からの評価は高い。先進的な取組を行っている他の事例を参考にして、一層の充実を求めたい。

また、図書購入費については、令和3年度に比べて増額しているが、昨今の物価上昇と連動して、新刊平均価格も大きく上昇している。引き続き資料費を確保して市民のニーズに見合った蔵書が構築できるように努めてもらいたい。

一方で、成果指標の達成状況については、憂慮すべき状況であると言わざるを得ない。相模原市立図書館は「前年比では、10項目の成果指標のうち5項目で増加となった」というが、同時に「評価基準値を上回った成果指標は1項目（利用者の満足度）で、3項目達成した前年と比べて減少」したと記述している。この評価は「第2次相模原市図書館基本計画」に基づいている点を考えると、数年先ではあるが、最終年度である令和9年度末時点の達成度という観点からも確認すべきである。来館者数、新規登録者数の影響を大きく受ける登録者率あるいは一般向け講座・講演会等の参加者数といったCOVID-19による影響が甚大である成果指標の達成状況が低いのはやむを得ないが、図書館ホームページの一日平均アクセス数のような指標が、最終目標と比較して著しく低いことは検証した上で、目標及び改善手段の再設定も含めた抜本的な検討が行われるべきである。なお、COVID-19の影響を大きく受けている点も含めて、「第2次相模原市図書館基本計画」の中間見直しも視野に入れるべきである。

以上の点を踏まえて、図書館協議会としては一定の成果は認めるが、総合評価については（1）の通り定めた。また、資料編には、各協議会委員から寄せられた意見を整理して掲載している。

資料編

資料編

1 第2次相模原市図書館基本計画「第6章 計画の推進に向けて」

1 成果指標

指標		単位	現状値	目標値 (令和9年度)	指標の説明	主に対応する 基本目標
1	登録状況					
	市民登録率	%	22.7	25.0	図書館サービスの向上により市民の図書館利用がどの程度促進されたか測る指標	1・2・3・4
	18歳以下の子どもの登録率	%	30.4	33.0		3
	新規登録者数	人	15,839	16,200		1・2・3・4
2	来館者数	人	1,870,491	1,913,000		1・2・3・4
3	利用者の満足度	%	71.8	80.0	利用者のニーズにどの程度応えているか測る指標	1・2・3・4
4	図書館ホームページの一日平均アクセス数	件	29,230	30,000	インターネットによるサービスや情報提供がどの程度活用されているか測る指標	1・2・3・4
5	レファレンスの受付件数	件	35,870	39,000	市民や地域の課題解決にどの程度貢献しているか測る指標	2・4
6	地域資料の蔵書数	冊	79,010	92,500	本市に関する資料の収集が十分に行われているか測る指標	2・4
7	一般向け講座・講演会等の参加者数	人	2,243	2,600	市民に生涯学習の機会をどの程度提供しているか測る指標	2
8	「読書は好きですか」という質問に「当てはまる」、「やや当てはまる」と回答した小・中学生の割合	%	69.0	75.0	子どもの読書への関心を測る指標	3

※市立図書館の再整備の際には目標値の見直しを検討する。

※現状値について、指標の1～3、5～7は平成30年度。4及び8は令和元年度。

2 進行管理

この計画を着実に推進するため、図書館法第7条の3の規定に基づく運営の状況に関する評価とあわせ、年度ごとに取組状況の評価を行い、進行管理するものとします。

評価は、成果指標に加え各種統計、利用者アンケート等を活用し、3図書館による内部評価と図書館協議会委員による外部評価を実施します。

また、評価結果を市民に提供するとともに、この計画の事業等の推進に活用します。

なお、計画策定後の社会情勢、図書館を取り巻く環境の変化等に応じ、適宜、計画の見直しを行っていきます。

※図書館法（昭和25年法律第118号）

（運営の状況に関する評価等）

第7条の3 図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

2 利用者アンケート

相模原市立図書館利用者アンケート 集計結果

I 利用者アンケートについて

1 調査の目的

「第2次相模原市図書館基本計画」の推進のため、利用者の皆様からご意見をいただき、今後の図書館運営や図書館サービスの向上に役立てることを目的に実施しました。

2 調査概要

調査対象	概ね高校生以上の図書館及び図書室利用者
調査方法	・来館（室）者にアンケート用紙を手渡しで配布し、 随時回収 ・相模原市ホームページに、Web 回答フォームを設置
調査期間	令和5年4月21日（金）～5月31日（水）
調査場所	（1）各図書館 （市立図書館、相武台分館、相模大野図書館、 橋本図書館） （2）公民館等図書室（6室） ・ 【緑区】 城山公民館、相模湖公民館 ・ 【中央区】 小山公民館、陽光台公民館 ・ 【南区】 大野中公民館、東林公民館 ※公民館等図書室は、令和9年度までの計画期間内に、 1室2回程度実施
回答者数	<u>1,163人</u> ・ 各図書館 617人 ・ 各公民館等図書室 149人 ・ Web 397人

Ⅱ 集計結果

1 集計結果を見る上での注意事項

- ・ 各表右下に、回答者数を記載しています。また、複数回答の設問については、回答数もあわせて記載しています。
- ・ 回答分布は、回答者数を基数とした百分率で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、百分率の合計が 100%にならない場合があります。
- ・ 複数回答形式の設問の場合は、回答分布の百分率の合計は通常 100%を超えます。
- ・ 選択肢等の語句が長い場合、表中では一部省略して表現しているものがあります。
- ・ 各設問で、回答数が多い順に 3 項目を網掛けとしています。

2 集計結果

各設問の集計結果は、次のとおりです。

1 図書館や公民館等図書室のサービスについてお聞きします。

問1 あなたは、どのくらいの頻度で図書館や公民館等図書室を利用していますか。
(回答は1つ)

選択肢	回答数	回答分布
1 ほぼ毎日	9	0.8%
2 週に 3～4 回程度	52	4.5%
3 週に 1～2 回程度	356	30.6%
4 2～3 週間に 1 回程度	559	48.1%
5 月に 1 回程度	99	8.5%
6 2～3 か月に 1 回程度	44	3.8%
7 年に 1～2 回程度	17	1.5%
8 初めて	4	0.3%
9 その他	7	0.6%
無回答	16	1.4%
合計	1,163	100.0%

回答者数=1,163

○利用頻度について、「4 2～3 週間に 1 回程度」(48.1%) が最も多く、次いで「3 週に 1～2 回程度」(30.6%)、「5 月に 1 回程度」(8.5%) の順となりました。

問2 あなたは、図書館や公民館等図書室をどのような目的で利用していますか。
(回答はいくつでも)

選択肢	回答数	回答分布
1 本を借りる・返す	1,126	96.8%
2 雑誌を借りる・返す	264	22.7%
3 CD・DVD等を借りる・返す	155	13.3%
4 館内で図書を読む	269	23.1%
5 館内で雑誌を読む	236	20.3%
6 館内で新聞を読む	90	7.7%
7 館内でCD・DVD等を視聴する	10	0.9%
8 館内で学習をする	106	9.1%
9 館内で仕事をする	30	2.6%
10 予約・リクエストをする	369	31.7%
11 調べものをする	179	15.4%
12 調べものの相談をする	35	3.0%
13 コピーサービスを利用する	35	3.0%
14 インターネットを利用する	26	2.2%
15 データベースを利用する	12	1.0%
16 イベント（講座やおはなし会など）に参加する	60	5.2%
17 テーマに沿った特集コーナーなど、本の展示を見る	66	5.7%
18 団体貸出で本を借りる	2	0.2%
19 図書館・公民館等図書室でボランティア活動をする	12	1.0%
20 図書館の貸室を利用して活動に使う	11	0.9%
21 その他	24	2.1%
無回答	15	1.3%

※複数回答設問 回答数=3,117／回答者数=1,163

○利用目的について、「1 本を借りる・返す」(96.8%)が最も多く、
次いで「10 予約・リクエストをする」(31.7%)、「4 館内で図書を読む」(23.1%)
の順となりました。

問3 図書館の利用についてお聞きします。あなたが利用している相模原市の図書館はどこですか。(回答はいくつでも)

選択肢	回答数	回答分布
1 市立図書館（中央区鹿沼台）	341	29.3%
2 相模大野図書館	337	29.0%
3 橋本図書館	303	26.1%
4 相武台分館	212	18.2%
5 図書館は利用せず、 公民館等図書室のみ 利用している	156	13.4%
無回答	35	3.0%

※複数回答設問 回答数=1,349／回答者数=1,163

○本市図書館の利用状況について、「1 市立図書館（中央区鹿沼台）」（29.3%）が最も多く、次いで「2 相模大野図書館」（29.0%）、「3 橋本図書館」（26.1%）の順となりました。

問4 問3で1～4（図書館を利用している）と回答した方にお伺いします。あなたは図書館の各サービスについて満足していますか。また、今後の図書館サービスにおいてどの程度重要だとお考えですか。あてはまる項目の数字に○をつけてください。（満足度・重要度それぞれ回答は1つ）

【満足度（図書館）】

回答項目		1 満足	2 やや満足	3 どちらとも 言えない	4 やや不満	5 不満	6 わからない	無回答
1 本の品ぞろえ	回答数	148	393	159	179	66	13	14
	回答分布	15.2%	40.4%	16.4%	18.4%	6.8%	1.3%	1.4%
2 雑誌の品ぞろえ	回答数	95	205	234	97	33	236	72
	回答分布	9.8%	21.1%	24.1%	10.0%	3.4%	24.3%	7.4%
3 CD・DVD等の品ぞろえ	回答数	24	56	173	103	94	422	100
	回答分布	2.5%	5.8%	17.8%	10.6%	9.7%	43.4%	10.3%
4 相模原市の行政や地域に関する資料の品ぞろえ	回答数	47	105	232	26	7	453	102
	回答分布	4.8%	10.8%	23.9%	2.7%	0.7%	46.6%	10.5%
5 本等を予約してから提供するまでの時間	回答数	166	238	174	146	62	132	54
	回答分布	17.1%	24.5%	17.9%	15.0%	6.4%	13.6%	5.6%
6 資料の探しやすさ	回答数	155	282	207	120	28	95	85
	回答分布	15.9%	29.0%	21.3%	12.3%	2.9%	9.8%	8.7%
7 館内の検索機の使いやすさ	回答数	174	262	167	97	43	151	78
	回答分布	17.9%	27.0%	17.2%	10.0%	4.4%	15.5%	8.0%
8 職員の知識・対応	回答数	433	282	129	21	7	61	39
	回答分布	44.5%	29.0%	13.3%	2.2%	0.7%	6.3%	4.0%
9 図書館へのアクセス	回答数	479	262	82	66	39	3	41
	回答分布	49.3%	27.0%	8.4%	6.8%	4.0%	0.3%	4.2%
10 図書館ホームページの見やすさ	回答数	134	240	196	89	42	187	84
	回答分布	13.8%	24.7%	20.2%	9.2%	4.3%	19.2%	8.6%
11 調べものの相談への対応	回答数	186	147	171	8	7	371	82
	回答分布	19.1%	15.1%	17.6%	0.8%	0.7%	38.2%	8.4%
12 データベースの品ぞろえ	回答数	48	78	208	30	11	485	112
	回答分布	4.9%	8.0%	21.4%	3.1%	1.1%	49.9%	11.5%
13 館内のインターネット利用環境	回答数	51	88	181	46	26	472	108
	回答分布	5.2%	9.1%	18.6%	4.7%	2.7%	48.6%	11.1%
14 大人向けの講座・講演会等のイベント	回答数	19	36	197	63	34	521	102
	回答分布	2.0%	3.7%	20.3%	6.5%	3.5%	53.6%	10.5%
15 子どもへのサービス	回答数	86	121	141	21	10	479	114
	回答分布	8.8%	12.4%	14.5%	2.2%	1.0%	49.3%	11.7%
16 子育て世代へのサービス	回答数	56	118	152	43	13	471	119
	回答分布	5.8%	12.1%	15.6%	4.4%	1.3%	48.5%	12.2%

回答項目		1 満足	2 やや満足	3 どちらとも 言えない	4 やや不満	5 不満	6 わからない	無回答
17 中・高校生世代へのサービス	回答数	32	67	179	29	17	531	117
	回答分布	3.3%	6.9%	18.4%	3.0%	1.7%	54.6%	12.0%
18 現役世代へのサービス	回答数	45	147	232	58	16	359	115
	回答分布	4.6%	15.1%	23.9%	6.0%	1.6%	36.9%	11.8%
19 シニア世代へのサービス	回答数	48	145	231	52	13	401	82
	回答分布	4.9%	14.9%	23.8%	5.3%	1.3%	41.3%	8.4%
20 障害のある方へのサービス	回答数	21	45	181	11	15	570	129
	回答分布	2.2%	4.6%	18.6%	1.1%	1.5%	58.6%	13.3%
21 外国人市民へのサービス	回答数	14	25	174	16	9	603	131
	回答分布	1.4%	2.6%	17.9%	1.6%	0.9%	62.0%	13.5%
22 図書館報の記事内容	回答数	28	77	196	22	7	515	127
	回答分布	2.9%	7.9%	20.2%	2.3%	0.7%	53.0%	13.1%

回答者数=972

○図書館サービスの満足度について、「満足」と「やや満足」の合計では、「9 図書館へのアクセス」(76.3%) が最も多く、次いで「8 職員の知識・対応」(73.5%)、「1 本の品ぞろえ」(55.6%) の順となりました。

また、「不満」と「やや不満」の合計では、「1 本の品ぞろえ」(25.2%) が最も多く、次いで「5 本等を予約してから提供するまでの時間」(21.4%)、「3 CD・DVD 等の品ぞろえ」(20.3%)、の順となりました。

【重要度（図書館）】

回答項目		1 重要	2 やや重要	3 どちらとも 言えない	4 あまり重要 でない	5 重要ではな い	無回答
1 本の品ぞろえ	回答数	635	195	51	9	1	81
	回答分布	65.3%	20.1%	5.2%	0.9%	0.1%	8.3%
2 雑誌の品ぞろえ	回答数	204	240	222	103	74	129
	回答分布	21.0%	24.7%	22.8%	10.6%	7.6%	13.3%
3 CD・DVD等の品ぞろえ	回答数	109	163	274	118	160	148
	回答分布	11.2%	16.8%	28.2%	12.1%	16.5%	15.2%
4 相模原市の行政や地域 に関する資料の品ぞろえ	回答数	148	169	309	88	106	152
	回答分布	15.2%	17.4%	31.8%	9.1%	10.9%	15.6%
5 本等を予約してから 提供するまでの時間	回答数	303	313	152	46	32	126
	回答分布	31.2%	32.2%	15.6%	4.7%	3.3%	13.0%
6 資料の探しやすさ	回答数	340	323	136	23	22	128
	回答分布	35.0%	33.2%	14.0%	2.4%	2.3%	13.2%
7 館内の検索機の 使いやすさ	回答数	308	307	153	36	34	134
	回答分布	31.7%	31.6%	15.7%	3.7%	3.5%	13.8%
8 職員の知識・対応	回答数	442	285	105	18	9	113
	回答分布	45.5%	29.3%	10.8%	1.9%	0.9%	11.6%
9 図書館へのアクセス	回答数	559	236	55	11	4	107
	回答分布	57.5%	24.3%	5.7%	1.1%	0.4%	11.0%
10 図書館ホームページの 見やすさ	回答数	317	263	167	41	41	143
	回答分布	32.6%	27.1%	17.2%	4.2%	4.2%	14.7%
11 調べものの相談への 対応	回答数	275	229	233	33	53	149
	回答分布	28.3%	23.6%	24.0%	3.4%	5.5%	15.3%
12 データベースの 品ぞろえ	回答数	171	170	345	37	83	166
	回答分布	17.6%	17.5%	35.5%	3.8%	8.5%	17.1%
13 館内のインターネット 利用環境	回答数	153	178	306	70	105	160
	回答分布	15.7%	18.3%	31.5%	7.2%	10.8%	16.5%
14 大人向けの講座・ 講演会等のイベント	回答数	88	159	361	77	124	163
	回答分布	9.1%	16.4%	37.1%	7.9%	12.8%	16.8%
15 子どもへのサービス	回答数	275	192	240	16	84	165
	回答分布	28.3%	19.8%	24.7%	1.6%	8.6%	17.0%

回答項目		1 重要	2 やや重要	3 どちらとも 言えない	4 あまり重要 でない	5 重要ではな い	無回答
16 子育て世代へのサービス	回答数	285	194	235	12	82	164
	回答分布	29.3%	20.0%	24.2%	1.2%	8.4%	16.9%
17 中・高校生世代へのサービス	回答数	233	190	276	29	81	163
	回答分布	24.0%	19.5%	28.4%	3.0%	8.3%	16.8%
18 現役世代へのサービス	回答数	240	227	255	34	49	167
	回答分布	24.7%	23.4%	26.2%	3.5%	5.0%	17.2%
19 シニア世代へのサービス	回答数	233	257	242	26	70	144
	回答分布	24.0%	26.4%	24.9%	2.7%	7.2%	14.8%
20 障害のある方へのサービス	回答数	294	211	233	10	50	174
	回答分布	30.2%	21.7%	24.0%	1.0%	5.1%	17.9%
21 外国人市民へのサービス	回答数	208	202	295	27	65	175
	回答分布	21.4%	20.8%	30.3%	2.8%	6.7%	18.0%
22 図書館報の記事内容	回答数	106	154	403	50	87	172
	回答分布	10.9%	15.8%	41.5%	5.1%	9.0%	17.7%

回答者数=972

○図書館サービスの重要度について、「重要」と「やや重要」の合計では、「1 本の品ぞろえ」(85.4%) が最も多く、次いで「9 図書館へのアクセス」(81.8%)、「8 職員の知識・対応」(74.8%) の順となりました。

また、「重要ではない」と「あまり重要ではない」の合計では、「3 CD・DVD 等の品ぞろえ」(28.6%) が最も多く、次いで「14 大人向けの講座・講演会等のイベント」(20.7%)、「4 相模原市の行政や地域に関する資料の品ぞろえ」(20.0%)、の順となりました。

問5 公民館等図書室（公民館や地域センター等にある図書室）の利用について伺います。あなたが利用している相模原市の公民館等図書室はどこですか。
（回答はいくつでも）

選択肢	回答数	回答分布
1 公民館図書室	374	32.2%
2 串川ひがし地域センター図書室	4	0.3%
3 青野原図書室	0	0.0%
4 総合学習センター図書室	0	0.0%
5 視覚障害者情報センター	1	0.1%
6 ソレイユさがみ情報コーナー	20	1.7%
7 公民館等図書室は利用していない	439	37.7%
無回答	329	28.3%

※複数回答設問 回答数=1,055／回答者数=1,163

○公民館等図書室の利用状況について、「7 公民館等図書室は利用していない」（37.7%）が最も多く、次いで「1 公民館図書室」（32.2%）、「6 ソレイユさがみ情報コーナー」（1.7%）の順となりました。

問6 問5で1～6（公民館等図書室を利用している）と回答した方にお伺いします。

あなたは公民館等図書室の各サービスについて満足していますか。また、今後の公民館等図書室のサービスにおいてどの程度重要だとお考えですか。あてはまる項目の数字に○をつけてください。（満足度・重要度それぞれ回答は1つ）

【満足度（公民館等図書室）】

回答項目		1 満足	2 やや満足	3 どちらとも言えない	4 やや不満	5 不満	6 わからない	無回答
1 本の品ぞろえ	回答数	40	78	86	95	72	13	11
	回答分布	10.1%	19.7%	21.8%	24.1%	18.2%	3.3%	2.8%
2 本等を予約してから提供するまでの時間	回答数	57	105	68	59	27	56	23
	回答分布	14.4%	26.6%	17.2%	14.9%	6.8%	14.2%	5.8%
3 館内の検索機の使いやすさ	回答数	69	79	85	11	15	107	29
	回答分布	17.5%	20.0%	21.5%	2.8%	3.8%	27.1%	7.3%
4 公民館等図書室職員の対応	回答数	237	93	33	8	2	11	11
	回答分布	60.0%	23.5%	8.4%	2.0%	0.5%	2.8%	2.8%
5 公民館等図書室へのアクセス	回答数	221	94	45	12	10	3	10
	回答分布	55.9%	23.8%	11.4%	3.0%	2.5%	0.8%	2.5%
6 図書館ホームページの見やすさ	回答数	61	73	99	34	18	81	29
	回答分布	15.4%	18.5%	25.1%	8.6%	4.6%	20.5%	7.3%

回答者数=395

○公民館等図書室のサービスの満足度について、「満足」と「やや満足」の合計では、「4 公民館等図書室職員の対応」（83.5%）が最も多く、次いで「5 公民館等図書室へのアクセス」（79.7%）、「2 本等を予約してから提供するまでの時間」（41.0%）の順となりました。

また、「不満」と「やや不満」の合計では、「1 本の品ぞろえ」（42.0%）が最も多く、次いで「2 本等を予約してから提供するまでの時間」（21.7%）、「6 図書館ホームページの見やすさ」（13.2%）の順となりました。

【重要度（公民館等図書室）】

回答項目		1 重要	2 やや重要	3 どちらとも 言えない	4 あまり重要 でない	5 重要ではな い	無回答
1 本の品ぞろえ	回答数	161	97	64	24	14	35
	回答分布	40.8%	24.6%	16.2%	6.1%	3.5%	8.9%
2 本等を予約してから提供するまでの時間	回答数	111	128	78	15	13	50
	回答分布	28.1%	32.4%	19.7%	3.8%	3.3%	12.7%
3 館内の検索機の使いやすさ	回答数	90	87	99	21	40	58
	回答分布	22.8%	22.0%	25.1%	5.3%	10.1%	14.7%
4 公民館等図書室職員の対応	回答数	181	112	45	11	2	44
	回答分布	45.8%	28.4%	11.4%	2.8%	0.5%	11.1%
5 公民館等図書室へのアクセス	回答数	226	95	29	4	2	39
	回答分布	57.2%	24.1%	7.3%	1.0%	0.5%	9.9%
6 図書館ホームページの見やすさ	回答数	125	86	96	14	16	58
	回答分布	31.6%	21.8%	24.3%	3.5%	4.1%	14.7%

回答者数=395

○公民館等図書室のサービスの重要度について、「重要」と「やや重要」の合計では、「5 公民館等図書室へのアクセス」（81.3％）が最も多く、次いで「4 公民館等図書室職員の対応」（74.2％）、「1 本の品ぞろえ」（65.4％）の順となりました。

また、「重要ではない」と「あまり重要ではない」の合計では、「3 館内の検索機の使いやすさ」（15.4％）が最も多く、次いで「1 本の品ぞろえ」（9.6％）、「6 図書館ホームページの見やすさ」（7.6％）の順となりました。

問7 あなたは、図書館や公民館等図書室のサービスについて、総合的に満足していますか。(回答は1つ)

選択肢	回答数	回答分布
1 満足	333	28.6%
2 やや満足	570	49.0%
3 どちらとも言えない	116	10.0%
4 やや不満	76	6.5%
5 不満	18	1.5%
無回答	50	4.3%
合計	1,163	100.0%

回答者数=1,163

○総合的な満足度について、「2 やや満足」(49.0%)が最も多く、次いで「1 満足」(28.6%)、「3 どちらとも言えない」(10.0%)となりました。

また、「1 満足」と「2 やや満足」の割合の合計は、77.6%となり、「4 不満」と「5 やや不満」の割合の合計は8.0%となりました。

問8 あなたの生活において、図書館や公民館等図書室の利用が役立っていると思うのはどのようなことですか。(回答はいくつでも)

選択肢	回答数	回答分布
1 趣味や娯楽に役立つ知識・情報が得られている	913	78.5%
2 家庭や生活に役立つ知識・情報が得られている	621	53.4%
3 仕事に役立つ知識・情報が得られている	337	29.0%
4 学校での課題や宿題に役立つ知識・情報が得られている	114	9.8%
5 地域の歴史や文化、行政情報などを知ることができる	184	15.8%
6 個人や地域の課題解決支援に役立っている	105	9.0%
7 子どもが読書に親しみ、 生きる力を育む機会が得られている	324	27.9%
8 ゆっくりと余暇を過ごすことができる	411	35.3%
9 学びを通じた交流や学びの成果を生かす場がある	65	5.6%
10 地域において親しみやすい居場所となっている	283	24.3%
11 特になし	18	1.5%
12 その他	53	4.6%
無回答	54	4.6%

※複数回答設問 回答数=3,428／回答者数=1,163

○図書館や公民館等図書室の利用が役立っていると思うことについて、「1 趣味や娯楽に役立つ知識・情報が得られている」(78.5%) が最も多く、次いで「2 家庭や生活に役立つ知識・情報が得られている」(53.4%)、「8 ゆっくりと余暇を過ごすことができる」(35.3%) の順となりました。

問9 あなたが、今後図書館において積極的に取り組んでほしいことは何ですか。
(回答はいくつでも)

選択肢	回答数	回答分布
1 多種多様な資料の収集・提供	517	44.5%
2 快適な読書環境の整備	405	34.8%
3 Wi-Fi 環境の整備	252	21.7%
4 飲食できるスペースの設置	190	16.3%
5 ICT を使いグループ学習や話し合いなど多様な活動に対応できるスペースの整備	48	4.1%
6 図書館・公民館等図書室以外で、貸出や返却が行える場所の整備	371	31.9%
7 図書館・公民館等図書室へ来るのが困難な方に向けた貸出サービスの検討	270	23.2%
8 子どもへのサービスの充実	260	22.4%
9 子育て世代へのサービスの充実	230	19.8%
10 中・高校生世代へのサービスの充実	181	15.6%
11 現役世代へのサービスの充実	182	15.6%
12 シニア世代へのサービスの充実	305	26.2%
13 障害のある方へのサービス	182	15.6%
14 外国人市民へのサービス	127	10.9%
15 子どもの読書活動を支える人への支援	161	13.8%
16 IC タグを活用したサービスの導入	94	8.1%
17 調べものへの支援	111	9.5%
18 情報活用能力向上の支援	82	7.1%
19 地域資料の収集・活用・提供	69	5.9%
20 講座や講演会の充実	182	15.6%
21 世代間など多様な交流の機会・場の提供	104	8.9%
22 特になし	40	3.4%
23 その他	111	9.5%
無回答	74	6.4%

※複数回答設問 回答数=4,474／回答者数=1,163

○今後図書館において積極的に取り組んでほしいことについて、「1 多種多様な資料の収集・提供」(44.5%) が最も多く、次いで「2 快適な読書環境の整備」(34.8%)、「6 図書館・公民館等図書室以外で、貸出や返却が行える場所の整備」(31.9%) の順となりました。

2 あなた自身についてお聞きします。

問 10 あなたの年齢をお伺いします。(回答は1つ)

選択肢	回答数	回答分布
1 19歳以下	20	1.7%
2 20～29歳	25	2.1%
3 30～39歳	122	10.5%
4 40～49歳	187	16.1%
5 50～59歳	198	17.0%
6 60～69歳	212	18.2%
7 70歳以上	340	29.2%
無回答	59	5.1%
合計	1,163	100.0%

回答者数=1,163

○回答された方の年齢層は以上のとおりです。

問 11 あなたの職業をお伺いします。(回答は1つ)

選択肢	回答数	回答分布
1 事業主	26	2.2%
2 自由業	34	2.9%
3 会社員、公務員、団体職員	258	22.2%
4 契約社員、派遣社員、 パートタイマー、アルバイト	237	20.4%
5 家事専業	215	18.5%
6 学生	31	2.7%
7 無職	284	24.4%
8 その他	12	1.0%
無回答	66	5.7%
合計	1,163	100.0%

回答者数=1,163

○回答された方の職業は以上のとおりです。

問 12 あなたのお住まいの地区をお伺いします。(回答は1つ)

選択肢	回答数	回答分布
1 橋本地区	107	9.2%
2 大沢地区	16	1.4%
3 城山地区	57	4.9%
4 津久井地区	5	0.4%
5 相模湖地区	26	2.2%
6 藤野地区	4	0.3%
7 小山地区	35	3.0%
8 清新地区	20	1.7%
9 横山地区	3	0.3%
10 中央地区	112	9.6%
11 星が丘地区	10	0.9%
12 光が丘地区	43	3.7%
13 大野北地区	79	6.8%
14 田名地区	5	0.4%
15 上溝地区	15	1.3%
16 大野中地区	58	5.0%
17 大野南地区	150	12.9%
18 麻溝地区	12	1.0%
19 新磯地区	29	2.5%
20 相模台地区	49	4.2%
21 相武台地区	128	11.0%
22 東林地区	75	6.4%
23 神奈川県内	22	1.9%
24 神奈川県外	39	3.4%
無回答	64	5.5%

回答者数=1,163

○回答された方のお住まいの地区は以上のとおりです。

問 11 最後に、図書館や公民館等図書室のサービスに関して、ご意見やご要望がございましたらご記入ください。

選択肢	回答数	回答分布
1 サービスについて	220	37.5%
2 運営について	133	22.7%
3 資料について	214	36.5%
4 職員について	67	11.4%
5 施設・設備について	119	20.3%
その他	36	6.1%

※複数回答設問 回答数=789／回答者数=586

○図書館や公民館等図書室のサービスに関するご意見やご要望について、586 人の方から、789 件の回答がありました（お 1 人の回答に複数の観点がある場合、観点ごとに件数を計上）。

回答された内容について項目別に分類すると、「1 サービスについて」（37.5%）が最も多く、次いで「3 資料について」（36.2%）、「2 運営について」（22.2%）の順となりました。

問 11 の主なご意見・ご要望（各項目で件数が多かった内容から一部抜粋）

1 図書館サービスについて

①貸出・返却、②予約・リクエスト、③図書館システム、④図書館の事業、⑤電子書籍に関する意見が多く寄せられました。

①貸出・返却

- ・ 駅や商業施設への返却・貸出ポスト設置など、利便性の向上を期待しています！
- ・ セルフ貸出サービス、予約の本をセルフ貸出など、町田図書館のようになったら嬉しい。
- ・ 1 度に借りる冊数は多くなくて良いので、貸出期間を 3 週間にしたい。
- ・ 貸出延長期間が 1 週間だけになっていますが延長期間のさらなる更新ができるようにしたい。専門書類は 1 週間の延長では足りないときが多い。

②予約・リクエスト

- ・ （予約ではなく）未蔵書のリクエストがホームページからできたらいいなと思います。すでに他の人がリクエストしているか、リクエストした本が蔵書になったかどうか確認できたら便利だと思います。
- ・ 新しい本などの待ち人数が多すぎます。
- ・ 予約可能数を増やしてほしい。
- ・ 現在、コミックや CD などは、ネット予約できないようですが、できるようになることを希望します。

③図書館システム

- ・ いつも予約して本を取っておいて頂くのですが、すぐログアウトしてしまうのがすごく不便です。スマホだと特になりやすいようです。あと回線が混雑しているとかでページに飛ばないこともしばしばです。時間帯的にそんなに混むことあるかなと思っています（深夜です）。
- ・ HPで図書検索をした時に、検索結果を最後のページまで見られないことが頻繁にある。（途中で次のページに切り替わらなくなる）改善してほしい。
- ・ マイライブラリーにログインしていない状態で蔵書検索し、目的の本が見つかった際、予約ボタンをクリックすると利用者認証が出るが、すぐ予約しない場合もあるので、お気に入り登録をそのままできる仕様になっているとうれしいです。

ホームページ上で書影が出ていると探しやすいので、できる限りすべての本の書影を載せて頂けると助かります。

- ・ 図書館のアプリの作成をお願いします。

④図書館の事業

- ・ 子どもへの読み聞かせ会を土日にも実施して頂きたいです。平日は働いている為、参加が難しいです。そういう場でできる地域のコミュニティに繋がりが出来ると尚嬉しいです。
- ・ 大人向けのイベントが平日の日中に多くので参加する機会がなくて残念です。
- ・ いろんな方々の読后感想などをメモで貼り出したりすると、今まで読まなかったジャンルの本にも興味を持てるかも知れません。
- ・ 色んなテーマでの読書会を開いてほしい。（イメージは「100分de名著」の図書館版）

⑤電子書籍

- ・ 新刊など人気の書籍は順番待ちも長いため、電子書籍での貸出しもご検討頂ければ嬉しいです。
- ・ 電子書籍サービスで読める本を増やして欲しいです。
- ・ 電子図書館に大人の読み物を増やして欲しい。
- ・ 電子書籍を充実させてほしいです。特に雑誌が見れるとうれしいです。

2 運営について

①相武台分館のあり方、②開館時間・休館日、③図書館の役割に関する意見が多く寄せられました。

①相武台分館のあり方

- ・ 分館ではありますが、図書を身近に感じられ、大変生活が豊かになっています。本の充実した大きな図書館も必要ですが居住地域に根付いた小さな分館等は閉じないで下さい。
- ・ 相武台分館の存続を強く願います。公園も併設されていて子供と利用時にとっても重宝しています。職員の皆さんもとても丁寧に対応して頂きありがとうございます。

- ・ 相武台分館は老後の生活の過ごす場所の一つとして大切です。公民館の図書室ではその代替はできません。なぜなら図書館だから。図書館として今の相武台分館は機能しています。さらにレベルアップしてほしいと思っています。相武台分館の存続を切に願っています。市民の税金が正しく使われるように市の行政担当の方に伝えて頂きたい。
- ・ 相模原市は、近隣市（大和市、海老名市、町田市など）に比べて図書館サービスや運営機能が遅れている。相武台分館は存続させ、充実させるべきです。

②開館時間・休館日

- ・ 土日の閉館時間を平日同様にしてほしい（全日同時間に）。
- ・ 木曜日に行った時何回か休館でしたが、何故木曜日休館にするのかわからない。月曜日休みで十分だと思いますが！
- ・ 休館日が多すぎます。
- ・ 土日祝日の開館時間を早めてほしい。休館日を減らしてほしい。

③図書館の役割

- ・ 地域に不可欠な存在です。予算の兼ね合いなどの都合上新たな書籍の充実や環境整備には制約があることでしょうが、生涯学習やリカレント教育の拠点になるものと考えます。又、不登校の児童生徒の子どもたちが図書館での学習や交流も受けとめることができたらしと思っています。
- ・ 中高生の居場所としての役割にも期待をしたいと思います。
- ・ 子供が読書や調べ物を進んで行えるように、環境整備をすることは最も重要なことと考えます。子供が図書館に来て楽しいと感じ、必要に応じて情報や本の選び方を職員の方に尋ねられる環境や雰囲気があって欲しいと思います。特に市立図書館には、相模大野のような子供だけの部屋がありません。小中学生が気軽にカウンターで相談できるような工夫が必要かもしれません。（夏休みだけでも子供向けのカウンターを用意する、レファレンスの体験会を学校と共同で行うなど。）
- ・ いつも利用させていただいています。ありがとうございます。現代は個人の好みが多様化しているので、全員が満足できるサービスの供給は難しいと思いますし、民業の圧迫にもなります。ただ、書店の実店舗も少なくなりつつある昨今、自分が探している本とも異なる新たな出会いがある場が少なくなっているように感じます。図書館はこれまで気づかなかった新しい本、新しい世界につながるような場になれば良いのではと思います。

3 資料について

①図書（本・雑誌）の充実、②資料の管理、③視聴覚資料の充実、④展示等による資料の紹介、⑤書架や配架の状況に関する意見が多く寄せられました。

①図書（本・雑誌）の充実

- ・ 予算の都合もあるかと存じますが、公民館図書室の蔵書がとても古くて新鮮味にかけます。数十年前の本が書架に出ていて驚くことがあります。公民館図書室は「予約した本を受け取る場」だけでなく、「新しい本に出合う場」でもありますので、ぜひ公民館図書室にも新しい本を入れてください。
- ・ 全体的に蔵書が古いので新しいものを積極的に導入してほしい。
- ・ 新しい図書の購入促進。図書が発売されてから借用出来るようになるまで長い。特にベストセラーは、発売後すぐに多数購入し！皆が極力早く読めるようにしてほしい。
- ・ 子どもの絵本や資料の豊かさを求めているもは大和市のシリウスに通っています。もう少し子どもの絵本の冊数を含めて豊かになると嬉しいです。

②資料の管理

- ・ 新しい本を寄贈しようとしたら断られた。処分は任せるとして、図書購入予算が限られている中、市民の蔵書の共有化を進めて・受け入れて欲しい。
- ・ お借りした本の中で汚れやページが折れている時があり残念に思う時があります。大事に皆が利用出来る事を望みます。
- ・ 古い本（10年以上前）が多く、新しい知識を増やそうと思ってもなかなか手に取れる本がない。比較のために古い本があるのはいいが開架にある本はなるべく新しい本にしてほしい。
- ・ シリーズになっている本が全部揃っていないのは悲しい。話がつながっているのに途中が抜けてしまっているの、前が見えない。

③視聴覚資料の充実

- ・ 子ども用のアニメのビデオテープは、時代に合わなくなっているので DVD に更新してほしいです。
- ・ CD の内容をもっともっと充実してもらいたい。全くと言っていい程、自分の趣味の範囲から外れており、借りたい物が極めて少ない。「R&B、ソウル、ブルース、ROCK、レゲエ、CLUBMUSIC、TECHNO」etc 項目分けをしてもらいたい。
- ・ VHS→DVD への全数切替を進めて下さい。
- ・ 出版業界や音楽業界等との絡みもあるかとは思いますが、本や CD が新しいものが少ないと思います。もっと新しいものを充実して欲しい（特に古いものが不要という訳ではなくそれはそれで必要であると思います）。

④展示等による資料の紹介

- ・ 新聞等の本紹介コーナーの本の展示。話題に合った本の紹介。司書さん手製 POP の作成。本探しに迷う時に良きヒント・アドバイスがあると、世界が広がりそうです。
- ・ 3歳の娘がいます。相武台分館には2～3歳のオススメ絵本が絵本棚に並んでいるので、とても有難いです。私も娘も絵本を選ぶのが楽しく、毎回「どん

な絵本が並んでいるのだろう～」と期待しながら見ています。今後も続けて欲しいと思います。(いつも絵本を選んで並べてくださりありがとうございます)

- ・ 小山公民館の特設コーナーの企画はとてもよい。図書館員がすすめて下さる本や感想をお聞き出来ることが楽しみです。小規模だからこそ利用しやすい。
- ・ 書庫にある本も利用者の目に触れる機会を作っていただきたいです。

⑤書架や配架の状況

- ・ 公民館でも書籍の場所がわかるようにしてほしい。
- ・ 雑誌架の配置図があるなら配布するか、雑誌架に設置して利用者にも分かりやすいようにしてほしいです。
- ・ 子供絵本の本棚が非常に選びにくいです。少なくとも、作者名で並べる必要はないと思います。以前海老名市に住んでおりましたが、手に取りやすく満足度が高かったです。一度見学参考にしてみてください。
- ・ 禁帯図書を見やすくして欲しいと思います。

4 職員について

①職員の対応に関する意見が多く寄せられました。

①職員の対応

- ・ 返却時、窓口の対応の個人差が大きく戸惑ったことがあります。非常に厳しく中をチェックする担当者があり、読めずに返した古い本の染みや黄ばみまで、こちらのミスを疑われました。汚す方が多く困っていらっしゃるのだと思いますが、チェックに際し一定のルールを設けて頂きたいです。
- ・ スタッフは、必要な時以外は、小さい声で話してほしい。
- ・ 公民館図書室のスタッフの皆のお声がけだけで無く、公民館にお勤めの方々のすれ違いの際に頂けるお声がけがとても嬉しいです。いつもありがとうございます。
- ・ 相武台分館の存続を強く願います。公園も併設されていて子供と利用時にとても重宝しています。職員の皆さんもとても丁寧に対応して頂きありがたいです。

5 施設・設備について

①利用スペース、②立地・アクセス、③設備、④施設全般、⑤駐車場・駐輪場に関する意見が多く寄せられました。

①利用スペース

- ・ 館内に飲食スペースを設けていただけたらと思います。
- ・ 昨年も意見を書かせていただきましたが、PCの利用座席数がとても少なく不便に感じるがあるので、もっと利用可能スペースを増やしていただきたいと思っています。

- ・ 小さい子供を連れた親や、なかなか図書館を利用しない若者に利用してもらえるようフリースペースや飲食スペースの拡大。会議室をもっと有効利用してもらえるシステム作り。
- ・ コロナも落ち着きつつあります。閲覧席をもう少し工夫して下さい。

②立地・アクセス

- ・ 相模大野駅から相模大野図書館へのアクセスについて改善してほしい。伊勢丹跡地を通れないのは仕方ないとしても、地上から2階へ上られる階段を増やせないだろうか？
- ・ 自宅からのアクセスが良いので、いつも公民館図書室を利用させて頂いております。本の品揃えや室内で読書できるスペース等は図書館に比べると劣っていますが、読みたい本を予約して取り寄せたり、他館で借りた本を返却できるサービスはとても嬉しいです。職員の方々の対応もとても満足しています。
- ・ 徒歩で利用出来る相武台分館の存在をありがたく思っております。
- ・ 車でしか行けない。バスを出して欲しい。

③設備

- ・ 返却ポストは公民館の外に設置して欲しいです。休みの日に返却出来ないのは不便です。
- ・ トイレが老朽化しているので、新しくして欲しい。子供が、トイレ利用する際、小さな便器を設置して欲しい。授乳室を設置して欲しい。館内の照明が暗く、他の図書館（新しく作り直した図書館）図書スペースの椅子なども簡易で、新しくして欲しい。
- ・ 座れる場所が少ない
- ・ 子どもの本のコーナーやお話し会で使用する部屋も、もっとあたたかみのあるかわいらしい設備にすると利用者が増えると思う（子育て世代の親も子も楽しめるようにして、相模原が子育て世代にとって住みやすい環境だと認知してもらえるようになるといい。）
大阪の「こども本の森中之島」みたいなステキな図書館があったら！と切に願う。孫と一緒に通いたいです。

④施設全般

- ・ 政令指定都市として、もっとりっぱな図書館にしてほしい。ここに来てゆっくりと過せ、リフレッシュできる場所であってほしい。
- ・ 図書室がもう少し広く、席が少し増えるとありがたいと思う。職員の方は親切にしてくださるので感謝している。
- ・ より近いのは淵野辺の図書館だが、古く薄暗い雰囲気があり、子どもが行きたがらない。次に近いのは、橋本の図書館であり、こちらは子どもも楽しんでいる雰囲気。ただし遠いので、気軽に貸し借りできない。図書館の雰囲気を快適に、また図書館数を増やしてほしい。また、資格試験など、使いやすい図書館の自習スペースはすぐに埋まってしまうので、気軽に快適に使える自習スペースを増やしてほしい。
- ・ もっと広々とした空間、子供が本に囲まれてワクワクするような空間、のびのびと色んな世代の方が読書ができる空間にしてほしいです。

⑤駐車場・駐輪場

- ・ 駐車場が隣接されているといいと思う。小さな子供のいるお母さん達も駐車場があれば利用しやすい場合もあるのではないかと思う。
- ・ 市立図書館には駐車場がありとても便利だが、橋本図書館や相模大野にはないので不便。それぞれ市営の駐車場の利用をすすめているが、サービス券を出すなど1時間でも無料になるととても助かるし利用者もふえると思う。ぜひご検討いただきたい！！（色々な図書館に行きたいので）
- ・ 相模大野図書館の駐輪場がせまいので、もう少し広くなると使いやすいです。
- ・ 市内全図書館から本を取り寄せていただけるので、ありがたいです。欲を言えば、駐車場があるともっと立ち寄りやすいと感ずることがあります。本をたくさん借りるととても重たいですし、雨天時は大切な本を濡らさないか心配になります。
新たにスペースを確保するのは難しいので、近隣の駐車場との提携サービスがあるとありがたいです。

その他

利用者ご自身の利用状況等についてのご意見をいただきました。

- ・ 本がいつでも読める環境に感謝しております。いつもありがとうございます。これからもどうぞよろしくお願いします。
- ・ 町田の図書館と併用しています。
- ・ 子供が関心を持っている分野の知識を深めたり、新しい関心を見つける機会が得られ、感謝しています。
- ・ 特になし。今のままでも OK。

3 各委員の意見

(1) 内部評価（成果指標）について

- ・ 成果指標 10 項目のうち、達成できた項目が 1 つであることは憂慮すべきことであると思います。関連して、内部評価では、「前年比では、10 項目の成果指標のうち 5 項目で増加となった。」とありますが、前年実績を下回る項目が 5 項目もある点は留意すべきことと思います。
- ・ 市民登録率、18 歳以下の子どもの登録率の数値が昨年度より減っており、目標値に届いていない。様々な観点から利用拡大の方策を検討することが課題である。
- ・ 18 歳以下の子どもの登録率で、乳児・幼児の登録が増加しているのに、小学生・中学生の年代が昨年度と同様に減少していることが課題である。子供たちがもっと市立図書館を利用できるように、教育委員会や学校と連携して登録者数を増やしていく工夫が必要である。
- ・ 2. 18 歳以下の子どもの登録率
0 から 6 歳の登録率が増加傾向にあることは、図書館の働きかけによる成果も大きいと考えられ、評価できます。他方、7 から 12 歳の登録率が減少している点は、図書館による工夫の余地が残されていると思います。
- ・ 内部評価＞(2)成果指標の検証＞③18 歳以下の子どもの登録(25.1%)について、減少が指摘されているが、同期間中の市民登録率(17.6%)との比較でいえば持ちこたえている状況といってよいだろう。小学生以下の登録には親世代への働きかけが不可欠と思われ、そのための施策が望まれる。
- ・ 4.来館者数
来館者数が戻りつつあるものの、貸出者数が減少している状況から、利用者の図書館に対するニーズが変化していると推察されます。あるいは、利用者アンケートの結果に見られるように、蔵書に魅力が少ないのかもしれない。
- ・ 5. 利用者の満足度
市域の広い相模原市にとって、公民館等図書室は重要なサービスポイントです。公民館等図書室の利用者満足度が高い点は、そのための多様な取り組みによるものと考えられ、高く評価できます。
一方、「本の品ぞろえ」は不満が多い結果となっています。利用者アンケートの間 11 の自由記述でもそのことが散見されます。アンケートには展示の工夫を評価する声も見られますが、より一層の工夫が必要のように思われます。
- ・ 成果指標の中で、利用者の満足度が評価基準値を上回ったことは評価できる。
- ・ 利用者の満足度は、上がっているのは大変良いことである。原則館内は、飲食禁止で良いと思う。必要ならば別室を設けるなどして対策する必要がある。

- ・ P20 の利用者の満足度に関して、品揃えなどに関しては不満、やや不満との事です
が、職員の知識・対応に関しては評価が高いとの事。これはとても素晴らしい事だと思
います。職員の皆様が、日々仕事に真摯に向き合っている事が、このよう
な利用者の高い評価となっていると感じました。
- ・ ⑦【図書館ホームページの一日平均アクセス数】は、対象をトップページではなく
全体平均値に見直すのが良いと思う。
利用者はいち早く目的地に到着したいので、「相模原市 図書館」+「こども」「イベ
ント」「本検索」などポイントで探すため、トップページではなく下位ページに着地す
る。
また、その着地ページに回遊を促す工夫を持たせるのも HP 利用を広げる一つの施
策になると思う。
- ・ 7. 図書館ホームページの一日平均アクセス件数
資料検索ページへのアクセス数は増加していることから、市民は資料を求めている
ことが確認できます。しかし、貸出数やレファレンス受付件数が減少していることか
ら、市民の情報ニーズに応えられていない状況が想像されます。1 つひとつの取り組
みに対する処方箋はないかもしれませんが、多様かつ地道な活動が市民のさらなる情
報ニーズを掘り起こす原動力になると思います。
- ・ 図書館ホームページへのアクセス数について、目標を大きく下回っている。市民の
意見にもあるように、操作性やコンテンツの見直しを行うことが課題である。
- ・ 9. 一般向け講座・講演会等の参加者数
評価基準値は大きく下回るものの、前年に比べ大きく増加したことは高く評価でき
ます。コロナ禍を経て得た経験を生かし、オンラインによる会の開催も積極的に取り
組むことも検討してはどうかと考えます。
- ・ 9 一般向け講座・講演会等の参加者数は、全館増加傾向（相武台分館除く）で、大
変評価できる。
参加者アンケート等の内容を開示することで、参加者の満足度等を知ることができ
るので、次回は是非資料があれば開示して欲しい。
- ・ イベント開催回数が一般向け講座の参加者数は目標値の半数以下である。市民から
の要望にあるように、平日日中に集中させず、土日の開催や平日夜間などを取り入れ
るなど、より多くの人に参加できる機会を増やすことが課題である。
- ・ 「読書は好きですか」という質問に「当てはまる」「やや当てはまる」と回答した小・
中学生の割合が、評価基準値を下回り、前年比でも減少傾向だったことが課題である。
素敵な本との出会いや、読書の楽しさを味わう機会を増やす工夫を考えたい。
- ・ 10 読書は好きですかの問いに対する小中学生の回答は、約 3 ポイント減少と言う
結果で読書好きになる、関心を持ってもらう工夫が必要かと感じた。

(2) 内部評価（施策の取組状況）について

- ・ 内部評価＞（1）段階評価＞施策の取組状況＞基本目標 1（生涯にわたる豊かな学びを提供する図書館）＞施策の方向①蔵書の充実＞主な施策のうち 2 項目（市民の多様な読書・情報ニーズに対応する蔵書構築、資料選定の効果的な実施）について、実施○・評価◎とされているが、利用者からはその成果が確認しづらく、内部評価の結果が適正であるか判断できなかった。（2）成果指標の検証＞⑥利用者の満足度において、「本の品ぞろえ」については利用者の満足度が低いことが挙げられていることに照らしても、前述の主な施策 2 項目が達成されているとはいえない状況なのではないだろうか。
- ・ P17 の②利用環境の充実に関して、×の部分を考えますと、上手く表現出来ませんが、図書館の中に、公園？広場？のようなスペースがあると良いんだろうなと思いました。広場は自由にみんなが色々な事をしていますよね、、、
読み聞かせがあったり、ご飯を食べたり、寛ぎながら本を読めたり、、、これら×と回答されてた項目が全て可能になるのかなと。まあそれは理想なのですが。
- ・ 飲食ができるスペースの検討は利用者にプラスになると考える。
- ・ 読書活動推進事業により、子どもの読書環境を充実することができたのは評価できる。
- ・ くるくる としょかんのような、子どもたちの身近にさまざまな読書環境を提供する取り組みは、高く評価できます。他方、利用者アンケートの間 11 の 1④にあるように、子どもへの読み聞かせの機会が十分でない（土日に開催されていない）など、さらなる改善の余地があります。
- ・ 【くるくる としょかん】はとても良い施策であるが、本が活用されているかなど利用実績の指標をどのように考えるか？受け手任せにならないようにすることも必要。
- ・ 「くるくる としょかん」のサービスは子どもたちが多くの本と出会えるチャンスがあり評価できる。実施している施設職員の声や、実際に利用している子どもたちの声も聞きたい。
- ・ 相模原市は「SDGs」に関心が高くパートナー企業も多いので、企業と連携できることを考えてみるのはどうか？
- ・ 電子書籍サービスの開始により、児童生徒が自分の使用している端末から利用できるようになったことは評価できるが、まだ十分にサービスを利用できていないことが課題である。これからも電子書籍サービスの利用については、学校と連携し、推進していく必要がある。
- ・ 電子書籍サービスを開始できたことは高く評価できます。ただし、中学生や一般の利用者数、延べ閲覧回数が少ないのが気にかかります。利用者アンケートの間 11 の

1⑤にあるように、電子図書館に大人の読み物が少ないと想像されることから、電子書籍コレクションの内容の充実が期待されます。

- ・ 資料の充実に関する市民からの要望が根強くある中で、電子書籍の導入を開始したことは評価できる。今後は、電子書籍の質量の充実が課題である。
- ・ P22 の主な取り組みについてに関して、子供の読書環境の充実、そしてこの先の時代を見据えた電子書籍サービスの提供は素晴らしいと思いました。
- ・ 「(3) 主な取組について」の記述の中で、「学校での学習活動や児童生徒の自宅等での学習に当該サービス（電子書籍サービス）を活用することが～」とあるが、1人1台端末機を配布されていても、実際は学校にて端末機が保管されており、児童生徒が自宅に持ち帰っていない学校もあり、学校との強い連携、保護者の理解なくしては推進困難と感じた。
- ・ 子どもが読書を楽しむ「生きる力」を育む図書館が「a」だった。これは、将来の成長する子どもたちにとっても素晴らしいことである。
- ・ 将来にわたり進化し続ける図書館は、R3 年度と変わらず資料の構築とニーズに対応したサービスについては、難しい問題で専門家を必要とするのではないのでしょうか。
- ・ 公衆無線 LAN の導入は、現在の情報社会において必要不可欠なインフラであり、これを整備できたことは評価できます。次の展開として、図書館が提供するデータベースを館内で利用できるようにしたり、無料で利用できる情報資源を含め、情報リテラシー教育に繋げたりなどのサービスを期待します。

(3) 内部評価（基本統計の検証）について

- ・ 利用に関する統計にて、小学生及び子育て世代の児童書の減少は課題である。読書感想文の宿題が減るなど、子どもと本との接点が減少しているのが数字に表れている。
- ・ 貸出点数が、前年度比で7%程度減少している。特に児童書の減少率が高く、18歳以下の子どもの登録率の低下も含め、児童/その親へのアプローチの仕方に今後工夫が必要かと思われる。
特に AV 資料の減少幅が大きく、資料編からも分かるように資料自体の老朽化がその大きな要因であると考えられる。VHS→DVD 化を進めるべきかと思うが、現在は BD 化をすべきと考える。そうすれば、若者需要も期待できると考える。
- ・ 市立・相模大野・橋本のいずれも司書資格者数が増えており、職員体制の充実に努めている点が評価できる。
- ・ (1) 市立図書館の項目で、職員数（司書・司書補）2名、(3) 相模大野図書館、(4) 橋本図書館各1名増加は、昨年度提案した内容が受け入れられ、大変評価できる。これからも新図書館建設に向けて更なる増員を期待しています。

しかし、(6) 全館では、職員数は 35 名と変化なしで、これからの住民ニーズに応えるべく、全体での増員を期待したい。

- ・ 図書購入予算の前年度比 138.5%増、購入冊数 135.2%増は、厳しい財政の中、評価できる。
- ・ 図書購入費が前年比で増えたといっても、R4 資料費予算額から読書活動推進事業費 31,400 千円を除くと 55,134 千円であり、当該事業目的の増額を除いた実質上昇率は 0.47%である。令和 4 年(2022 年)の新刊書籍の税抜き本体価格の平均は、前年比 2.2%上昇している(※)ことを鑑みると、決して十分な予算とはいえない。
また、当該事業は市の子育て支援策の一つで児童書を主なターゲットとしており、一般書の充実を目的としていない。児童書にしても一般書にしても、一度限りの予算増ではなく、書籍の価格上昇を織り込んだうえで継続的に十分な予算が確保できるよう、市として長期的視点に立った予算編成を行っていくべきである。
※出典：『出版指標年報 2023』(出版科学研究所,2023)

(4) 各図書館による自己評価について

■全体

- ・ 各図書館の蔵書冊数を増やすことはやはり課題である。
- ・ 市立図書館や相模大野図書館では、女子美術大学図書館や相模女子大学高等部と協働した取り組みが見られました。また、橋本図書館では継続して地域の人々や団体、行政と連携したさまざまな催しを開催してきました。これらの取り組みは、図書館利用はもちろん、図書館の広報にも繋がり、高く評価できます。
- ・ 市立図書館、相武台分館、相模大野図書館ともに「レファレンス件数の減少幅が大きい」との記載があるが、橋本図書館は微増との記載あり。原因究明のために、前述 3 館との比較検討が必要と思われる。

■市立図書館

- ・ 子育て世代の情報支援で利用促進につながったことは評価できる。関心が高いものは労力をかけてでも利用する、親が図書館を利用すれば子どもも利用する。
- ・ 市立図書館における「子育て支援コーナー」の新設は、子育てがしやすい相模原市との魅力発信に寄与する取組である。
- ・ 市立図書館において、子育て支援コーナーを新設し、利用者が資料を発見するなどの利便性を高め、利用促進に繋がったことは高く評価できます。
- ・ 公民館や大学との連携は評価できる。公民館は地域住民が集まる場でそこに図書館の資料を提供する、反対に大学はあまり行かない場所なのでそこにある資料を借用するなど、市民のためを考えた資料の利用方法だと思う。

- ・ 市立図書館における女子美大学図書館との連携は専門的な図書に触れる良い機会だと思う。市立小中学校では 造形「さがみ風っ子展」を開催しているが、何らかの連携の可能性もあると思った。
- ・ 「大人の図書館見学」には関心の高い方が参加したと思うので参考になる意見が聞けたのではないかと？バックヤードを知ると一方的な要望だけではなく双方から見た考え方ができるので、今後も継続できるとよい。
- ・ 市立図書館による「大人の図書館見学」は市民への積極的なアプローチとして評価できます。こうした取り組みがレファレンスサービスの利用に繋がることが期待されます。他方、利用者アンケートの問 11 の 1④にあるように、大人向けのイベントが平日の日中に多い点は、改善の余地があると思います。

■相模大野図書館

- ・ 学生に向けた読み聞かせ指導はとてもよい取り組みだと思う。今回は依頼に応じてのことだが、絵本を通じて本の魅力や図書館の利用方法を学生や子どもたちに広げることにもつながるので、他の学校にも広げられるとよい。
- ・ 今現在は駅からのアクセスは不便だと思うが駅利用者の駐輪場が近くにある。ただ、図書館の位置が見えにくく気付かない人もいたので何らかのアピールをしてみるのはいかがでしょうか。
- ・ 相模大野図書館（及びグリーンホール）は何度か行く機会があったが、何故か、確かに物理的な行きにくさを感じる。
- ・ 相模大野図書館のみインターネット利用件数が減となった要因は？
- ・ オンラインデータベース等の利用件数について、相模大野図書館のみ実績を半分に減らしている。図書館工事の影響以外にも原因がないのか再検討し、必要に応じた対策を講じる必要がある。
- ・ 相模大野図書館による返却ポストの設置は、利用者からの利便性の向上に関する要望の実現として評価できる。

■橋本図書館

- ・ 管轄公民館図書室の現状把握や研修など連携を図っているところが評価できる。公民館図書室の職員からも有効な情報が得られるのでお互いに学びを意識できるとよい。
- ・ 「図書館と市民をつなぐ会・相模原」や商店街や商業施設との共催など、立地条件を活かして地域との連携を上手に利用しているところが評価できる。市民が図書館の存在や利用方法を知る新たな視点になる。

- ・ 橋本図書館の「YA 大賞」及び「SDGs」に関する取組は評価できる。引き続き周知を工夫して欲しい。
- ・ 橋本図書館のミウィとのコラボキャンペーンは大変評価できる。利用者増の新たな切り口が斬新である。
- ・ 橋本図書館新規登録者増は評価できる。

■相武台分館

- ・ 相武台分館はイベントに力を入れることで存在意義を高め、子育て世代や高齢者を中心に支持を集めていることが評価できる。

(5) その他（全体に関する意見等）

- ・ 利用者アンケートの意見や要望には利用満足度を上げるヒントがたくさんある。ネット利用など利用方法の変化に対応すること、子ども連れや高齢者など特化する利用者の対応に目を向けていくことが今後必要だと感じる。
様々な年代、忙しい人も余暇を過ごす人も、直接来館できる人もそうでない人も、本を通して人生を楽しめるモノとして図書館を利用できるよう考えていきたいと思う。
- ・ 全体を通して、私は、公民館図書室を館内に設置し身近に感じていますが、市の図書館に行くのも少し遠いということもあり利用者が大変多く、返却ボックスはあふれるばかりの時もあります。時に利用者が読みたい本が届くまで時間がかかるなどの声もあります。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響が今なお続く中、困難な課題も多々あったかと思いますが、市民のニーズに合わせ、図書館の運営に取り組んできたことは高く評価できます。ここに記して図書館職員みなさんが努めてくださったことに感謝します。
- ・ コロナ禍の影響が残る中で、感染拡大防止策を講じつつ開館に努めるなど、通常のサービス提供を継続した点が評価できる。